

令和5(2023)年度

事業報告書
及び付属明細書

自 令和5(2023)年4月1日

至 令和6(2024)年3月31日

目 次

基本理念、基本方針、総括報告、重点事業	．．．．	2
【実施事業】		
I. ともに支えあう地域づくり ～市民の主体的な地域福祉活動の推進～		
1. 安心して暮らせる地域づくり	．．．．	3
2. 地域の中の生きがい（役割）づくり	．．．．	22
II. 地域生活を支える仕組みづくり ～安心して相談できる体制～		
1. 断らない相談支援体制づくり	．．．．	31
2. 必要な福祉サービスを届ける仕組みづくり	．．．．	35
3. 市民の権利を守る体制づくり	．．．．	50
III. 分野や立場を超えた支えあいづくり ～多種多様なネットワークの構築～		
	．．．．	51
IV. 推進体制の充実・強化		
1. 会務の運営	．．．．	53

※本報告書は、社会福祉法に規定する事業報告書及び事業報告書を補足する重要事項である付属明細書を「事業報告書及び付属明細書」として一体的に作成しています。

令和5(2023)年度 社会福祉法人 野洲市社会福祉協議会 事業報告

【基本理念】「すべての人が ともに生き ともに支えあう 安心して暮らせるまち やす」

【基本方針】「おたがいさま」と「少しのおせっかい」

【報 告】

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が感染法上の5類に移行されましたが、様々な地域生活課題が顕在化しており、生活に大きな影響を及ぼし続けています。地域では人と人とのつながりが希薄になり、生活領域における支え合いの基盤が脆弱化し、孤独・孤立の深刻化、より複雑化・複合化した課題を抱え、対応が困難なケースが浮き彫りとなるなど、様々な生活・福祉課題が表面化しています。また、物価高騰も重なり、生活困窮者の増加を引き起こしています。

国では社会構造の変化や人々の暮らしの変化を踏まえ、自治会やボランティア団体をはじめ、多くの地域住民が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく「地域共生社会」の実現に向けた取り組みが進められています。

このようななか本会では、地域のつながりの重要性が益々高くなってきており、今まで進めてきた地域福祉活動や福祉団体、福祉施設、ボランティアとのつながりを活かしながら、複雑化する地域ニーズに対して、第3期野洲市地域福祉基本計画の基本理念である『すべての人が ともに生き ともに支えあう 安心して暮らせるまち やす』の実現に向けて「おたがいさま」と「少しのおせっかい」の2つのキーワードを基本方針として各種事業を進めました。

特に今年度は、市内で自然災害による被害が発生したときに求められる対応について、平時から関係団体同士がお互いの強みを共有し、連携して効率的な活動ができるように野洲市防災サポート連絡会の立ち上げや、地域での見守り・支え合いを通じた福祉のまちづくりを目指して、地域の実情に応じた、それぞれの地域ならではの仕組みづくりに向けた取組みに努めました。

また、本会の目指すべき姿を明確に示した「第1次中長期経営計画」が、本年度をもって計画期間が終了するため、組織全体で課題を共有し、地域住民とともに福祉のまちづくりを進めるため、本会の果たすべき使命や理念を明確にし、その実現に向けた 事業 展開、組織、財務に関する 今後5年間の具体的な取組を示すため、野洲市社会福祉協議会第2次中期経営計画を策定しました。

【重点事業】

1. 「多様なつながり」のある地域づくり・人づくり

子どもや高齢者といった世代や年齢に関係なく、そして、さまざまな障がいや生きづらさ、困りごとのある人など、誰もが社会とつながり、さまざまな参加のかたちにより地域でいきいきと活躍できる地域づくり・人づくりに取り組みました。

2. 第1次中長期経営計画の推進 及び 第2次中期経営計画の策定

本会の目指すべき姿を明確に示した「第1次中長期経営計画」に基づき、計画を実行していくための組織ガバナンスの強化、経営基盤の確立に取り組みました。

また、令和元年度から進行してきた第1次中長期経営計画が、令和5年度をもって計画期間が終了するため、これからの野洲市社会福祉協議会の経営方針を明確にするとともに、組織全体で課題を共有し、組織として一定の方針のもとに事業展開を図るため、第2次中期経営計画を策定しました。

3. 学童保育所の健全運営

保護者が共働き等により昼間家庭にいない児童に対し、放課後等に適切な遊び及び安心・安全な生活の場を提供し児童の健全育成を図りました。

【実施事業】

I. とともに支えあう地域づくり ～市民の主体的な地域福祉活動の推進～

近年では、支えあいや助けあいの仕組みが機能しにくい地域や、地域と関わる機会が少ない市民も増えています。また、各種団体においても構成員の固定化や高齢化、減少による弱体化などがみられ、次代を担う人材の育成が課題として挙げられます。

市民同士のコミュニケーションが円滑に図られ、良好な地域社会が形成できるよう、各種団体の活動をさらに活発にし、次代を担う人材を地域で育成できるよう各種事業を通して働きかけました。

1. 安心して暮らせる地域づくり

(1) 地域福祉活動の推進支援

①話し合いの場づくり（住民による話し合いの場づくりへの働きかけ）

□生活支援体制整備事業（第2層の取組）〔財源：市委託〕

生活支援コーディネーターが地域の实情にあわせ、住民主体の取組の活性化、地域全体で高齢者等を支える体制づくりを地域の方とともに進めました。

また、個別の課題から地域でも同じような課題を抱えている方が多いことを地域に働きかけ、地域で出来ることなどを自治会単位で話し合いの場を設け、地域ニーズや地域資源の把握などに取り組みました。

・生活支援コーディネーター 配置人員 3名（中学校圏域に1名配置）


・関係機関（高齢福祉課・地域包括支援センター等）との連絡会議への参加（5回/年）

・個別地域ケア会議への参加（11回/年）

要支援1・要支援2、総合事業対象者の介護予防サービス・支援計画書原案に対して、自立に資したプランとなるよう、専門的な視点での助言・指導を行う会議において、生活支援コーディネーターとして出席し、地域資源の情報提供等を行いました。

・圏域包括ケア会議・第2層協議体合同会議

中学校圏域ごとに包括支援センターと共催で会議を開催しました。

圏域	開催日	内容
野洲中圏域	11月16日 (木)	参加者：4自治会より7名 ・ゲストスピーカーとして近江富士第5区の福祉健康推進委員会に活動発表をしていただきました。その後、「一年前と比べてわが組織の困りごとがどのように変化したか」「近江富士第5区の活動を聞いて発見したこと」等について意見交換を行いました。 

野洲北中圏域	5月19日 (金)	<p>「みんなまち@野洲北中圏域～みんなでまちづくり」 参加者：地域づくりのキーパーソンとなりうる市民に参加依頼 (6自治会より2～3名 計10名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域で取り組み始めたことやできそうなことを話し合い、具体的な取り組みにつなげよう」 ・「コミュニティ・スクールの概要」について (生涯学習課より説明) ・「コミュニティ・スクールの実際の取り組み」の報告 (小南自治会 木村さんより事例報告) ・グループワーク「各地域での取り組み・できそうなこと」
	7月31日 (月)	<p>参加者：新規2自治会より2名 計4名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの参加自治会に加えて、新たに2自治会より参加していただくにあたり、会議の目的・これまで議論されたこと等を伝え、各自治会の取組について紹介していただきました。
	8月25日 (金)	<p>「みんなまち@野洲北中圏域～みんなでまちづくり」 参加者：6自治会より2～3名 野洲北中学校 2年生 5名 計20名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3回のみんまちで参加者のみなさんから「地域が子どもや学校とどうつながるかが課題」という意見が多数あり、野洲北中学校に相談したところ中学生と話し合いの場が実現しました。 ・「自分たちのまちについて考えよう」をテーマにグループに分かれて中学生の生の声を聞きました。 
	11月22日 (水)	<p>「みんなまち@野洲北中圏域～みんなでまちづくり」 参加者：6自治会より2～3名 計11名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでのみんなまちを振り返り、グループワークにて「中学生と一緒に取り組んだことや、うまくいった所、うまくいかなかった所について」話し合いました。
	2月22日 (木)	<p>第42回社会福祉学会にて実践報告 「みんなまち@野洲北中圏域～みんなでまちづくり」 ～圏域包括ケア会議及び第2層協議体合同開催の取組から～</p>
	2月28日 (水)	<p>「みんなまち@野洲北中圏域～みんなでまちづくり」卒業式 参加者：8自治会より2～3名 計15名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回から参加いただいている方の卒業式。参加者からみんなまちに参加しての感想、課題等を出していただきました。 ・今後も地域づくりの取り組みができるよう支援内容について提案をしました。

中主中圏域	10月31日 (火)	「地域でつながりあうために～私たちが地域の中でできる事～」 ・参加者 事業所職員、民生委員児童委員、サロン代表者、百歳体操代表者 計19名 ・地域での活動内容、活動の思いについて 2名発表 ・グループワーク 現在取り組んでいる活動や今後始めてみたいこと、事業所が地域とできそうなことについて意見交換
	2月2日 (金)	「地域でつながりあうために～私たちが地域の中でできる事～」 ・参加者 事業所職員、民生委員児童委員、サロン代表者、百歳体操代表者 計17名 ・事業所と地域が共同で取り組んだランチサロンについて発表 ・グループワーク 事業所や地域が繋がり合うためにできることについて意見交換

□地域における生活困窮者等のための地域づくり事業

- ・見守りマップの作成に向けた聞き取り

空き家等社会資源の状況などの実態把握のため、関係団体(古民家再生協会滋賀南)と協働し、マップの作成を活用した話し合いの場での聞き取りを行いました。

学区	自治会
野洲学区	桜生
北野学区	駅前北・五之里
祇王学区	中北・江部
篠原学区	小南・大篠原・高木・小堤・入町
中主学区	比留田・八夫・須原・木部

- ・市内小中学校におけるコミュニティスクールや地域学校協働活動への参画

学校と地域住民が力をあわせて学校の運営に取り組み、「地域とともにある学校づくり・学校を核とした地域づくり」を目指すコミュニティスクールに参画し、学校との連携を深めました。

- *学校運営協議会委員として会議に参加

3校(中主小学校・中主中学校・篠原小学校)×各5回

- *地域学校協働活動

【中主中学校】

○チュッピーコミュニティサークルとの協働活動

- ・社協で関わりのある一人暮らし高齢者や人との関わりの少ない方に対して、暑中見舞いはがき・年賀状を作成。
- ・赤い羽根共同募金の街頭募金活動(中主学童保育所の児童と実施)
→社会的孤立の状態にある方・共同募金運動の目的等への理解を促すきっかけとなりました。

※チュッピーコミュニティサークル…地域と中主中学校がつながり、ボランティア活動など様々な取り組みをとおしてともに地域づくりを進めていく活動

【野洲北中学校】

- みんなまち（野洲北中圏域包括ケア会議・第2層協議体）への参加呼びかけ
 - ・グループワークで出た「地域とのつながりが希薄な方をどう見守っていくか」という課題に対し、参加者から“コミュニティスクール”で中学生と一緒に地域の取り組みが行えたらよいという話題が出てきたことから、中学生との交流（地域づくりをテーマとしたグループワーク）を企画・実施しました。
- 中学生との交流では参加者から「子どもの意見や考えを聞く機会がなかったので良かった。逆に大人の考えも知ってもらえる機会になったと思う」と喜びの声が聞かれました。
- また中学生からは「地域の行事があるのか調べて、地域の友達を誘って積極的に参加する」「地域の人々の印象が変わった。衰えているものを復活できるように頑張る」「普段は話さない年齢層の人たちとたくさん話せてとても楽しかった！！」との発言がありました。

【野洲小学校】

- 野洲っこ応援団（野洲小の子どもたちを応援するボランティア）との連携
- ・学校コーディネーターと連携し、社協のボランティア講座の講師として登壇していただくとともに、地域のボランティア希望者を学校ボランティアの活動につなぐことができました。

【篠原小学校】 7/26・10/11

- 「おしゃべりしよう！学校のコト・子どもたちのコト」
- ・学校や子ども達のことなどで困っていること、気になっていることなどを出し合い、地域と学校が連携できることを見出す機会として、学校運営協議会委員が中心となり、2回（先生対象・保護者対象）の懇談会に参加しました。

*その他関係会議等

- ・野洲市コミュニティスクール合同交流研修会（2/29）参加

□見守り・支え合いネットワークの組織化

地域で見守りをすすめるための仕組みづくり、組織化について民児協と協働プロジェクトを立ち上げ、アドバイザーの助言を得ながら協議を重ねました。

【アドバイザー：ローカリズム・ラボ 井岡 仁志 氏】

・見守りネットワークプロジェクト会議

（民児協地域活動部会学区代表・アドバイザー・市社会福祉課・地域包括支援センター・社協）

開催日	内 容	参加者
9月13日(水)	①見守りネットワークの定義～大切にしたいこと ②守秘義務・個人情報の考え方	18名
11月10日(金)	③見守りネットワークの体制～幅広い住民参加の方法 ④具体的な取組み方法 *滋賀県内の取組事例から学ぶ ～ゲスト：近江八幡市社協	23名
1月12日(金)	⑤専門職や行政との協働のあり方 ⑥活動支援体制	16名

・研修会、活動報告

開催日	内 容	参加者
5月20日(土)	自治連合会・民児協共同研修 「民生委員児童委員と自治会との連携による地域の見守りについて」 講師：ローカリズム・ラボ 井岡 仁志 氏	150名
7月14日(金)	第3回民児協地域活動部会研修会 「見守りネットワーク 野洲モデル(案)」作成にむけて	30名
12月1日(金)	第4回民児協地域活動部会研修会 「近江八幡見守り支えあいネットワークと自治会単位の見守り支えあい活動」実践者交流会	23名
3月14日(木)	第5回民児協地域活動部会研修会 見守りネットワークプロジェクトについて報告	24名
3月18日(月)	市自治連合会会長会 見守りネットワークプロジェクトについて報告	16名

・コア会議（民児協地域活動部会三役・アドバイザー・社協）

開催日	内 容
4月10日(月)	民児協地域活動部会と社協で取組み方針を協議する場を提案
4月25日(火)	市協働推進課との打ち合わせ 5/20自治連合会での民生委員との合同研修のすすめ方について
5月12日(金)	自治連合会・民児協共同研修にて伝えたいこと、聞き取りたいこと確認
5月31日(水)	民児協を核とした自治会域の見守りネットワークづくりについて、今後のスケジュールを確認
6月6日(火)	見守りネットワークプロジェクト会議の進め方について
7月11日(火)	第3回民児協地域活動部会研修会の進め方について
8月9日(水)	第1回見守りネットワークプロジェクト会議にむけて
10月25日(水)	近江八幡市社会福祉協議会との打合せ 第4回民児協地域活動部会研修・活動実践者との交流会(12/1)の進め方について
10月31日(火)	近江八幡市社会福祉協議会との打合せ 第2回 見守りネットワークプロジェクト 事例紹介依頼・報告内容について
3月8日(金)	見守り・支え合いネットワーク「実践編」(手引き案)まとめ
3月14日(木)	自治連合会会長・市協働推進課との打ち合わせ 自治連合会会長での報告内容について



□地域福祉活動推進事業補助金〔財源：共同募金〕

学区自治連合会が地域福祉活動の促進を目的として実施される事業に補助を行っており、今年度はそれぞれの学区で下記の事業に活用されました。

学区	補助額	主な活用事業内容
野洲学区	50,000 円	10/28 第 17 回コミセンやす秋まつり
北野学区	50,000 円	10 月グラウンドゴルフ大会（それに伴う除草、グラウンド整備費用）
三上学区	50,000 円	コミセンみかみ改修お披露目・見学会
祇王学区	50,000 円	1/28 第 32 回子育て報告会
篠原学区	50,000 円	10 月末 トレトレ&文化祭
中里学区	50,000 円	音楽広場・再発見の旅
兵主学区	50,000 円	茶道クラブ、小物作り教室、ひょうず収穫祭・発表会、正月用寄せ植え教室、フラワー教室、けん玉教室、ビーズアクセサリー教室、広報誌の発行
計	350,000 円	

□話し合いの場、出前講座の実施

【野洲中圏域】

開催日	地域・団体名	参加者
7 月 26 日(水)	小篠原自治会	7 名
8 月 17 日(木)	万葉台自治会	6 名
8 月 23 日(水)	万葉台自治会	26 名
10 月 18 日(水)	万葉台自治会	27 名
4 月 8 日(土)	三上自治会	19 名
7 月 9 日(日)	三上自治会	34 名
5 月 29 日(月)	大畑自治会	2 名
5 月 30 日(火)	野洲自治会（空き家バンク shiga）	3 名
4 月 21 日(金)	近江富士 5 区福祉健康推進委員会	12 名
5 月 19 日(金)	近江富士 5 区福祉健康推進委員会	12 名
7 月 21 日(金)	近江富士 5 区福祉健康推進委員会	11 名
8 月 18 日(金)	近江富士 5 区福祉健康推進委員会	10 名
9 月 15 日(金)	近江富士 5 区福祉健康推進委員会	12 名
10 月 20 日(金)	近江富士 5 区福祉健康推進委員会	11 名
11 月 17 日(金)	近江富士 5 区福祉健康推進委員会	10 名
12 月 15 日(金)	近江富士 5 区福祉健康推進委員会	8 名
1 月 19 日(金)	近江富士 5 区福祉健康推進委員会	11 名
2 月 16 日(金)	近江富士 5 区福祉健康推進委員会	9 名
3 月 5 日(火)	南櫻自治会（老人クラブ）	35 名
9 月 26 日(火)	近江富士 5 区自治会	17 名
10 月 6 日(金)	大畑ゆいの会	10 名

【野洲北中圏域】

開催日	内 容	参加者
5月16日(火)	駅前北自治会	5名
5月29日(月)	駅前北自治会	5名
11月19日(日)	駅前北自治会	32名
6月12日(月)	久野部東自治会 (ひだまり友遊クラブ)	7名
8月17日(木)	久野部東自治会 (ひだまり友遊クラブ)	8名
10月19日(木)	久野部東自治会 (ひだまり友遊クラブ)	8名
2月15日(木)	久野部東自治会 (ひだまり友遊クラブ)	7名
6月16日(金)	五之里自治会	3名
6月3日(土)	祇王学区自治連合会	15名
4月19日(水)	永原上町自治会	3名
4月19日(水)	中北自治会	3名
5月20日(土)	江部自治会	5名
9月1日(金)	上屋自治会	14名
5月14日(日)	篠原駅前自治会	10名
6月24日(土)	篠原駅前自治会	16名
10月10日(火)	大篠原自治会	3名
1月17日(水)	高木自治会	4名
8月22日(火)	小南自治会	7名

【中主中圏域】

開催日	内 容	参加者
4月20日(木)	兵主学区自治連合会 (空き家バンク shiga)	13名
5月10日(水)	比留田自治会	5名
5月29日(月)	八夫自治会	6名
6月30日(金)	中主学区自治連合会	26名
7月20日(木)	須原自治会	4名
7月24日(月)	木部自治会	5名
8月8日(火)	安治自治会 (豆吉)	2名
11月17日(金)	中主学区自治連合会	24名
2月7日(水)	下堤自治会	3名

②居場所づくり（地域の居場所づくりへの支援）

□ひきこもり者・家族の居場所づくり〔財源：市委託、自主財源〕

- ・地域の関係者や住民と連携しながら居場所づくり、働く体験のメニューも取り入れた取り組みをすすめました。
- ・社協が実施主体として活動を継続している居場所のほか、自主グループでの居場所づくりに関する相談支援を行い、様々な居場所づくりが展開できました。

	活動名	実施主体	内容	開催数	場 所
i	ほっと♡time	野洲市社協	ひきこもり者家族の会	13回	Cozy room 野洲のかたすみ (野洲)
ii	ふらっとポイント	川辺のとまり木	パソコンを中心に自由な時間を過ごす		
iii	ふらってーしょん	川辺のとまり木	畑作業を通じたコミュニティ農園		
iv	おやじのかたすみ	野洲市社協 川辺のとまり木	ひきこもり者家族（父親）の会 R6.3～開始	1回	
v	Bumpy	Bumpy	不登校家族のおしゃべり会	9回	大生産業会議室 (野洲)
vi	まだ名前のない居場所	野洲市社協	ひきこもり当事者の居場所、働く体験	12回	中北の家 (野洲北)
vii	Mindshelter	Mindshelter	畑での作業やお茶会を通じたコミュニティサロン		Mindshelter (野洲北)
viii	不登校親の会	蜜柑の木	不登校家族のおしゃべり会	9回	豆吉 (中主)
ix	心の居場所 toiro	toiro	不登校の子どもの居場所	28回	
x	親カフェ	ちゅうずこども食堂輪の会	不登校家族のおしゃべり会		ミセンなかさと (中主)
xi	はぐはうす	はぐはうす	子どもの居場所・親の会		ハクハク茶小屋 (中主)

☞ i. 「ほっと♡time」

期日	参加者	支援機関・ボランティア
4月25日(火)	4名	3名(1機関・ボランティア)
5月23日(火)	5名	3名(1機関・ボランティア)
6月20日(火)	5名	3名(1機関・ボランティア)
7月3・5・6日	*DVD視聴による学習会(北部合同庁舎2階にて実施)	
7月18日(火)	5名	3名(1機関)
8月22日(火)	6名	3名(2機関)
9月19日(火)	4名	5名(2機関・ボランティア)
10月17日(火)	5名	6名(2機関)
11月21日(火)	5名	2名(1機関)
12月12日(火)	4名	2名(1機関・ボランティア)
1月16日(火)	4名	4名(2機関・ボランティア)
2月20日(火)	5名	5名(2機関・ボランティア)
3月19日(火)	5名	4名(2機関)

(事業効果)

親同士、困っていることや悩んでいることが安心して話せて、「ほっとした一時が過ごせる場として定着してきています。

今年度は訪問看護ステーション和来の看護師さんが継続して参加していただき、日頃悩んでおられる医療機関の受診や薬のことなどの話も相談されたり、子どもが不登校の経験をされた保護者のボランティアさんが、自分も同じことに悩んでいたなどお互いに一人一人の想いを傾聴され、安心してお話をされている様子が窺えました。支援者としてこれまで保護者の方と関わっているときには聞けなかったいろいろな思いも聞くことができ、今後も保護者の方が元気になれる場になればと考えています。

iv. おやじのかたすみ

期日	参加者	支援機関・ボランティア
3月11日(月)	4名	4名(2機関・ボランティア)

(事業効果)

ひきこもり者の親の会は母親が中心で定着している。それなら、父親の会ができないかと計画し、声かけをした結果、4名の父親が参加されました。初めて顔を合わせるメンバーが話しやすいような場面づくりの工夫をし、それぞれの思いを話してもらうことができました。今後も定期的開催をしていきたいと考えています。



vi. まだ名前のない居場所

*開催日：毎月第1火曜日 12：30～15：00（働く体験の実施 13：00～14：00）

期日	当事者	家族	支援機関等
4月4日(火)	1名	5名	4名(2機関)
5月2日(火)	4名	4名	3名(2機関)
6月6日(火)	4名	3名	3名(2機関)
7月4日(火)	3名	3名	3名(2機関)
8月1日(火)	5名	3名	3名(2機関)
9月5日(火)	4名	3名	3名(2機関)
10月3日(火)	5名	4名	3名(2機関)
11月7日(火)	4名	4名	3名(2機関)
12月5日(火)	3名	3名	4名(2機関・見学者)
1月9日(火)	4名	3名	3名(2機関)
2月6日(火)	4名	3名	4名(2機関・見学者)
3月5日(火)	3名	3名	3名(2機関)

(事業効果)

居場所、働く体験の機会の提供を組み合わせた場所として継続しています。

就労につながって卒業された方がある一方、新たな参加者もあり新たな交流も生まれています。



Ⅷ・Ⅸ. 「蜜柑の木」・「心の居場所 toiro」

不登校講演会 「こんとも&あーちゃん 親子で届けるいのちのメッセージ」

開催日	9月6日(水)
場所	中主防災コミセン 研修室
参加者	21名

主催：蜜柑の木・心の居場所 toiro 共催：野洲市社協

(事業効果)

講演会の後に講師を交えて懇談会を行いました。

それぞれの置かれている状況や思いを出し合い、自分だけが悩んでいるのではないということや、いろんな支援者・居場所があることを知ってもらうことができ、仲間づくりにもつなげることができました。



*滋精診（滋賀県精神科診療所協会）引きこもり支援研修会 活動報告(3/23)

*滋賀県ひきこもり支援・働きづらさ支援推進委員会出席（7/25・10/31・2/27）

□小地域ふれあいサロン支援事業〔財源：市補助、自主財源〕

地域における高齢者の生きがいづくりや閉じこもり予防、地域の支えあい活動を促進することで、地域の見守り活動支援体制を推進することを目的に、小地域ふれあいサロン事業の運営支援を行いました。また、地域で高齢者や子育て中の保護者が気軽に寄り合える居場所(サロン)の立ち上げについて、立ち上げから実施までの相談・支援を行いました。

サロンを訪問し、様子や取り組みされている工夫などを Facebook に掲載しました。

□サロン交流会(前期・後期)の開催〔財源：市委託、自主財源〕

高齢者の生きがいづくり及び閉じこもり予防、ならびに地域の支えあい活動を促進することを目的として各地域で開催されるサロン運営に対する支援の一環として貸出備品の紹介や体験、サロンプログラム事例の紹介、各サロンの情報交換などを通してお互いの悩みなどを共有し考える場としました。

【サロン交流会開催状況】

開催日	会場	参加者	内容
6月12日(月)	コミセンなかさと	11名	サロン貸出備品 紹介&体験会
6月15日(木)	コミセンやす	16名	情報交換会・ボランティア紹介
2月8日(木)	コミセンぎおう	26名	サロンプログラム事例集紹介
2月16日(金)	コミセンなかさと	18名	新しい備品紹介・情報交換会



【サロン交流会 アンケートより】

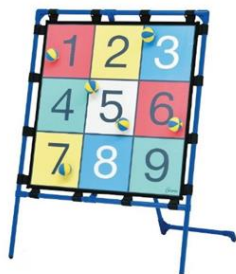
- ・貸出備品の一覧表をもらい、実際体験して使い方がわかりサロンで利用したいと思った。
- ・ボランティアの情報が得られ、内容など詳しく聞けたのでお願いしたいと思う。
- ・他のサロン活動を知ることで今後の参考になったし、視野が広がった。
- ・サロン代表者同士の情報の共有を今後も持ちたいので継続して交流会を開催してほしい。
- ・市の出前講座がたくさんあることがわかったので活用したい。
- ・社協と密に連携をとっていききたい。相談していききたい。

□サロン等備品貸出事業

【備品貸出内訳】 計 5507 日(延べ貸出日数) ※R6 年 3 月～貸出開始

備品名	貸出日数	備品名	貸出日数
カロム	809 日	ポケットボール	116 日
輪投げ	215 日	ターゲットゲーム	189 日
ハンドベル	112 日	ラダーゲッター	50 日
釣りっこ	103 日	スティックリング	10 日
魚魚(とと)合わせ	34 日	SDカラオケ	81 日
ビンゴゲーム	47 日	消しゴムハンコ	28 日
バツコンゲーム	47 日	DVD(口腔体操)	531 日
唱歌かるた	38 日	DVD(できなくてあたりまえ体操)	554 日
スローイングビンゴ	29 日	DVD(おにごぼ体操)	7 日
シャッフルボード	25 日	DVD(椅子体操)	802 日
ゲーボールゲーム	54 日	DVD(体操の時間ですよ)	705 日
スマイルボーリング	65 日	DVD(みんなの認知症予防ゲーム)	68 日
カーレット	75 日	DVD ウェルハピネス	312 日
ビーンボーリング	67 日	レクリエ・脳活ドリル	303 日
※将棋	1 日	※囲碁	1 日
※競馬でGO	0 日	※点鳥ルーレット	23 日
※的あて名人	6 日	-----	-----

主な貸出先：小地域ふれあいサロン、子ども会、老人会、自治会、学校、福祉団体、福祉施設等



□サロン活動補助金〔財源：市補助、自主財源〕

65歳以上の高齢者を対象とした生きがいづくりや閉じこもり予防、地域の支えあい活動を促進することを目的とした“サロン・集いの場”の開催に対し、運営に要する経費の補助を行いました。

*ふれあいサロン補助基準：1回あたり5,000円、1サロン12回を上限として補助
 令和6年度以降ふれあいサロン補助金廃止し、おたがいさまサロン補助金に移行する。
 *おたがいさまサロン補助基準：1月あたりの平均参加者人数により補助金限度額を算定し、
 百歳体操や市の健康教室の受講により加算有

サロン実施団体等	補助数	サロン実施団体等	補助数
野洲ふれあいサロン（おたがいさま）	12	江部おたがいさまサロン（おたがいさま）	12
サロンなしま（野洲・おたがいさま）	12	江部Caféフレンド	12
サロンこのぎ（野洲・おたがいさま）	12	中北貴ふね会	12
四ツ家幸せサロン	12	わかば会（北・おたがいさま）	12
大畑サロン	12	ウイズ・ユー（北）	12
ふれあいサロン（万葉台）	12	上屋ふれあいサロン（おたがいさま）	12
万葉クラブ	12	新上屋ふれあいサロン（おたがいさま）	12
行畑なごやかサロン	12	富波甲ふれあいサロン	12
小篠原ふれあいサロン	12	野洲の里ふれあいサロンインボ（おたがいさま）	12
さくらなかよしサロン（桜生）	12	ふれあいサロン富波乙	4
ふれあいサロン松の会（駅前）	12	成橋町ふれあいサロン（大篠原）	10
駅前東サロン	10	東町西町ふれあいサロン（大篠原）	10
和田ふれあいサロン	10	街道町ふれあいサロン（大篠原）	10
青葉台ふれあいサロン	12	小堤ふれあいサロン	11
市三宅ふれあいサロン（おたがいさま）	12	入町ふれあいサロン	11
栄しあわせクラブ	12	長島ぬくみの会	8
四方山会（久野部）	12	長島百歳体操サロン（おたがいさま）	12
ニコニコ会（久野部東・おたがいさま）	12	高木ふれあいサロン	12
ほっこり一花会（久野部東）	10	高木なかよしサロン	12
竹生ふれあいサロン	6	小南ふれあいサロン	12
わくわくクラブ（富士美台）	12	小南友愛サロン	12
ヴィルサロン（ヴィルヌーブ野洲・おたがいさま）	12	篠原シニアネット（篠原駅前）	12
山出おたがいさまサロン（おたがいさま）	12	比江ふれあいサロン（おたがいさま）	12
東林寺ふれあいサロン	10	北比江ふれあいサロン（おたがいさま）	12
前田おたがいさまサロン（おたがいさま）	12	木部いきいき会	12
小中小路ふれあいサロン	9	吉地ふれあいサロン	3
大中小路おたがいさまサロン（おたがいさま）	12	吉地いきいき百歳体操クラブ	12
愛慈彩の会（七間場）	12	サロン虹の会（虫生）	4
妙光寺なごみサロン	12	八夫福祉委員会	2
北桜ふれあいサロン	10	野田お喋り会（おたがいさま）	12
南桜ふれあいサロン	5	野田いきいき筋トレ九楽歩（おたがいさま）	12
近江富士第一区ふれあいサロン	5	井戸端カフェ（野田・おたがいさま）	12
ひまわり（近江富士第二区・おたがいさま）	12	五条ふれあいサロン	3
サロン笑楽（近江富士第二区・おたがいさま）	12	豆吉	12

近江富士第三区ふれあいサロン	6	須原いきいき体操（おたがいさま）	12
四区ふれあいサロン会（近江富士第四区）	3	下堤ふれあいサロン	12
五区のふれあいサロン（近江富士第五区）	11	ふたば会（井口・おたがいさま）	12
フラワーハウスの集い（近江富士第五区）	12	六条おたのしみ会	6
OFJ6.9プラザ（近江富士第六区）	12	六条清流クラブ（おたがいさま）	12
チャレンジ・セブワード（近江富士第七区）	6	吉川百歳体操クラブ	12
上町福寿ふれあいサロン	11	吉川健康体操教室（おたがいさま）	12
下町ふれあいサロン	10		

計：83 サロン／ 補助数 876 回／ 補助額合計 4,158,124 円

サロン補助金 決定団体	小地域ふれあいサロン補助金	49 自治会 57 サロン
	おたがいさまサロン補助金	19 自治会 26 サロン
	計	68 自治会 83 サロン

□子育てサロン支援事業〔財源：共同募金〕

子育て中(乳幼児・未就園児)の保護者を地域で支えるサロン活動を促進することを目的として子育てサロン事業に対して運営に要する経費の補助を行いました。

(補助基準：1回あたり3,000円、1サロン12回を上限として補助する。)

自治会等	サロン名	補助数
野洲学区自治連合会	わくわく親子ひろば	11 回
シャリエ野洲	シャリエ野洲子育てサロン	6 回
北野学区自治連合会	きたのっ子ひろば	11 回
竹生自治会	竹生子育てサロン	3 回
サニークレスト野洲管理組合	パンダクラブ	12 回
三上学区自治連合会	さくらんぼクラブ	11 回
祇王学区自治連合会	ぼかぼか広場	12 回
篠原学区自治連合会	篠っ子おやこひろば	8 回
中里・兵主学区自治連合会	ルンルンおやこひろば	10 回
吉地自治会	吉地子育てサロン	2 回
計：10 サロン／補助対象開催数 86 回開催／補助額合計 257,625 円		

□子ども会育成事業〔財源：自主財源〕

次世代を担う児童を地域で健全に育成していくことを目的として、自治会等における子ども会の活発な運営を支援するため、活動経費の一部に補助を行いました。

(＊補助基準：10,000円＋150円×児童数)

自治会等	児童数	自治会等	児童数	自治会等	児童数
野洲	53	富波湖州平	20	野洲の里	12
四ツ家	79	富士美台	32	見星寺カレッジタウン	39
大畑	20	アルティプロザ野洲	4	富波東	66
万葉台	26	ヴァルヌーブ野洲	13	大篠原	30
行畑(行合)	41	三上	38	小堤	9
行畑(古里)	31	七間場	23	長島	12
行畑(中畑)	73	妙光寺	11	小南	27
小篠原	180	北桜	4	篠原駅前	66
桜生	47	南桜	13	比江	52
駅前	53	近江富士1区	21	小比江	2
駅前東	7	近江富士2区	12	北比江	11
青葉台	11	近江富士3区	8	錦の里・乙窪	12
レックス	10	近江富士4区	10	吉地	66
グランブルー	10	近江富士5区	17	西河原	127
エスリード野洲第2	12	近江富士6区	8	比留田	41
シャリエ野洲	21	近江富士7区	7	木部	17
市三宅	160	上町	29	虫生	14
駅前北	29	下町	10	八夫	36
五反田	12	江部	56	野田	34
縄手	5	中北	8	五条	16
樋ノ尻	6	北	24	安治	17
富波南	14	上屋	5	下堤	2
久野部	37	新上屋	15	井口	26
久野部東	23	富波野	20	六条	22
竹生	7	富波松陽台	57	吉川	51
五之里	11	富波乙	31	菖蒲	11
計 78自治会 / 補助額合計 1,123,650円					

③見守り活動

□命のバトン配布事業〔財源：自主財源〕

高齢者や心身に障がいのある方等を対象に、急病や災害等の緊急時に救急隊員及びかけつけた方へ持病やかかりつけの病院などの情報をより早く的確に知らせるため、必要な情報を保管する容器やシートの配布を行いました。

民生委員や自治会から一人暮らし高齢者等に声かけし、命のバトンを見守りツールとして活用していただきました。

□災害ボランティアセンターの設置に向けた取組〔財源：市補助、自主財源〕

・災害ボランティアセンター設置訓練・研修会の実施

開催日	研修内容
10月12日(木)	近江八幡市社協災害ボランティアセンター設置運営訓練 事前説明会
10月22日(日)	近江八幡市社協災害ボランティアセンター設置運営訓練
2月9日(金)	研修会（市職員・防災サポート連絡会メンバー・社協職員） 「協働型災害ボランティアセンターとは」 講師 ローカリズム・ラボ 井岡 仁志 氏
3月6日(水)	災害ボランティアセンター設置運営訓練（市職員・社協職員）

・災害支援プロジェクト会議（5回／打合せ会9回）

開催日		主な内容
5月12日(金)	第1回	災害ボランティアセンター運営訓練（3/2）の振り返りから今後の訓練について 災害支援プロジェクト会議の令和5年度の展開について
7月14日(金)	第2回	野洲市災害おたがいさま地域サポートネット(仮称)設立に向けての趣意書の作成と協力団体について
7月20日(木)		野洲市災害おたがいさま地域サポートネット(仮称)設立に向けての趣意書の作成について
8月1日(火)		野洲市災害おたがいさま地域サポートネット(仮称)の趣意書(案)の内容について
9月7日(木)		野洲市災害おたがいさま地域サポートネット(仮称)協力団体への依頼状況について
9月13日(水)	第3回	野洲市災害おたがいさま地域サポートネット(仮称)協力団体による第1回会議の開催について
11月10日(金)	第4回	第2回 野洲市災害おたがいさま地域サポートネット(仮称)会議について
12月18日(月)		第3回 野洲市災害おたがいさま地域サポートネット(仮称)会議について
1月12日(金)	第5回	野洲市防災サポート連絡会の開催状況について 災害ボラセン訓練（3/8(金)開催）について

・野洲市防災サポート連絡会の運営（4回）

開催日	主な内容
10月30日(月)	設立の目的について
12月5日(火)	各参加者活動紹介／連絡会での活動について
12月19日(火)	前回の会議振り返り／研修参加報告
2月9日(金)	研修会：協働型災害ボランティアセンターとは 講師 ローカリズム・ラボ 井岡 仁志 氏

・令和6年能登半島地震にかかる近畿ブロックからの派遣（1月25日～）
（派遣先：石川県七尾市社協） 17クール（3/28～4/3）1名派遣

□歳末たすけあい配分事業

歳末たすけあい運動の一環として、新たな年を迎える時期に支援を必要とする人たちが、地域で安心して暮らすことができるよう、住民の参加や理解を得てさまざまな福祉活動を実施しました。

事業	内容	配分額(円)	備考
日常生活支援事業	年末の大掃除の支援を行う事業へ配分	129,310	窓拭き：42世帯
福祉のまちづくり助成事業	交流活動事業・施設整備等へ配分	620,000	20,000円×31施設・団体
ひとり暮らし高齢者等友愛訪問事業	共同作業所に作成依頼したカレンダーを民生委員・児童委員の協力を得て、野洲市内のひとり暮らし高齢者等のお宅を友愛訪問し、安否確認や見守りを兼ねて行う事業へ配分	546,040	カレンダー作成費 (1460部)
要保護世帯等支援事業	野洲市内の要保護世帯を対象に支援する事業へ配分	1,679,000	9,000円×154世帯 (1,000円×293名)
配分額合計		2,974,350円	

(2) 広報・啓発事業

□広報誌「社協やす」の発行〔財源：市補助、自主財源、共同募金〕

地域福祉活動への関心と理解を深めるため、広報誌「社協やす」を発行し、本会の活動や市内で活動しているボランティア団体・小地域福祉活動について広く市民に情報発信を行いました。

これまでは年4回の発行でしたが、今年度より年6回に発行回数を増やしました。また今後全戸配布を実施できるよう各市町社協に広報の配布方法について伺い、検討しました。

発行日	奇数月の各15日(年6回発行) 新聞折込・各関係機関等への配布
主な掲載内容	5月 「民生委員児童委員の日」活動紹介／令和5年度事業計画・予算／ボランティア紹介／レイカディア大学お知らせ／お知らせ版
	7月 地域の見守りについて考えよう／活動紹介(大畑自治会)／お知らせ版／レイカディア大学受講補助案内
	9月 令和4年度事業・決算報告／役員紹介／活動紹介(豆吉(安治))／赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい募金配分事業案内／お知らせ版／地域でボランティア応援講座のお知らせ
	11月 ふれあいサロン紹介／ファミリー・サポート・センター講習会案内 地域福祉権利擁護事業紹介／社協会費お礼／お知らせ版／活動紹介(小南自治会)
	1月 チュッピーコミュニティサークル活動紹介／ひきこもり支援居場所・講演紹介／お知らせ版／活動紹介(近江富士5区自治会)
	3月 地域でボランティア応援講座実施報告／野洲市社会福祉大会報告 歳末助けあい募金配分事業報告／共同募金運動協力お礼／お知らせ版／活動紹介(下堤自治会)

□SNSや冊子等を活用した啓発〔財源：自主財源〕

- ・ホームページリニューアル・更新
- ・Facebookの更新(129回)
- ・地域活動応援ガイド「はじめの一步」の作成
- ・サロン情報「社協 かわら版」の発行(No.15~No.17)

自治会を通じ、サロンの担い手を対象に「社協 かわら版」を発行し、サロン運営に関する補助金や、ボランティア情報、交流会の案内などの情報提供を行いました。

発行月	主な内容
4月(No.15)	・小地域ふれあいサロン・おたがいさまサロン補助金申請の流れ ・留意点等の説明会案内
5月(No.16)	・サロン交流会案内(前期)
1月(No.17)	・サロン交流会案内(後期)

□視覚障がい者への情報提供

視覚障がいのある方に対し、各種広報・チラシ等の情報が伝わるようにするため、ボランティアの協力を得て音訳・点訳したものを作成し、毎月1日に提供しました。

また配布ボランティアの協力を得て、対象者宅に届けることで、情報提供だけでなく日常の見守りにもつながりました。

□野洲市視覚障がい者のための広報等音訳事業〔財源：市委託〕

行政等が発行する啓発・広報誌等を音訳し、視覚障がいのある方への情報提供を行いました。

区 分	令和 5 年度	令和 4 年度
実施回数	12回(毎月1日配布)	12回(毎月1日配布)
実利用者数	9人(1月～3月は8人)	9人

*事業協力ボランティア：野洲朗読グループさえずり

*音訳内容：広報やす、議会だより、時刻表 他

□その他の情報提供〔財源：共同募金、自主財源〕

社協が発行する広報誌の音訳と行政等が発行する情報を点訳し、視覚障がいのある方への情報提供を行いました。

*点訳・音訳内容：社協やす、広報やす、議会だより 他

*点訳ボランティア：野洲点字サークル

*音訳ボランティア：野洲朗読グループさえずり

*配布ボランティア：個人ボランティア

2. 地域の中の生きがい（役割）づくり

(1) ボランティア活動の推進〔財源：市補助、自主財源〕

ボランティアをしたいという方や、ボランティアグループに対し、ニーズにあったマッチングを行うとともに、安心して活動していただくために、ボランティア活動保険への加入案内や活動の相談・支援を行いました。

ボランティア団体の活動日に訪問し、活動内容や団体紹介など Facebook に掲載しました。

□ボランティア相談受付

ボランティア相談受付対応数	637 件
ボランティアコーディネート数	団体 81 個人 28

・レイカディア大学学生対応 8 名

□レイカディア大学支援補助金交付事業〔財源：市委託〕

地域活動やボランティア活動に従事する人材の育成を推進することを目的に、滋賀県レイカディア大学の授業料の一部を補助しました。

・申込者：6 名

□ボランティア登録・保険の受付〔財源：自主財源〕

保険に加入いただくことで、安心してボランティア活動や行事を行っていただくことができるよう保険加入の案内・受付を行いました。

・ボランティア登録数／グループ 54・個人 18

・保険加入数／グループ 49・個人 13

保険種類(保険料)		令和 5 年度	令和 4 年度
ボランティア活動 保険	基本プラン(350 円)	1,014 名	1,016 名
	天災・地震補償プラン(500 円)	6 名	18 名
	特定感染症重点プラン(550 円)	35 名	7 名
ボランティア行事用保険(最低保険料 560 円)		329 行事	307 行事
福祉サービス総合補償		9 グループ	5 グループ
送迎サービス補償		1 グループ	0

□ボランティア連絡協議会支援〔財源：自主財源、共同募金〕

ボランティアの連携や会員相互の親睦を図ることによりボランティア活動を広げるとともに、会員の資質向上を目指すことを目的としているボランティア連絡協議会の活動支援を行いました。

- ・ボランティア連絡協議会 会員交流会（6 月 30 日 コミセンなかさと大ホール）
社協貸出備品を活用したゲーム大会が行われました。



- ・ボランティア連絡協議会 館外研修会（8月29日 行先：福井方面 年縞博物館・瓜割の滝）
- ・ボランティア連絡協議会 研修会（10月6日 聴導犬研修会）
聴導犬ユーザーを講師にお招きし、「聴導犬の役割の大切さ」学びました。



- ・ボランティア連絡協議会 活動発表会
「ポピンズ」・「G・フォー」による活動発表会が行われました。



□ボランティア活動補助金〔財源：共同募金〕

ボランティア活動の活性化を図るため、グループ活動費の補助を行いました。

グループ名	補助額	グループ名	補助額
要約筆記サークルチェリー	14,200 円	日本車椅子レクダンス協会	12,100 円
手話サークルともしび	17,000 円	G・フォー（9月より改名）	11,750 円
野洲朗読グループさえずり	13,500 円	野洲断酒会	15,950 円
ラス・フローレス	12,450 円	ポピンズ	15,250 円
計 8 グループ		補助額合計 112,200 円	

□学習支援事業〔財源：自主財源〕

①やすクールへのボランティア派遣

午後6時から実施される学習前に軽食(おにぎり)を提供するため、炊飯・おにぎりボランティアとして協力していただくボランティアを募り派遣しました。

実施日時	毎週水曜 午後4時～ (8月第3週目はお盆のため休止、1/24雪のため中止)
登録数	おにぎりボランティア 13名 (毎回3名～5名ずつの当番制)

②おにぎりボランティアと生徒交流会

開催日	内容	参加
4月19日(水)	開校式	感染防止のため、ボランティア参加辞退
12月20日(水)	クリスマス	ランチボックス提供
3月13日(水)	修了式	サンドイッチ提供、修了式7名参加

③おにぎりボランティア連絡会議(中間報告会)

開催日	会場	参加
9月20日(水)	コミセンやす	おにぎりボランティア9名 市民生活相談課1名 社協2名



□ボランティア講座（地域でボランティア応援講座）の開催

地域住民の地域における社会参加やボランティア活動を促すため、ボランティアを始めるための心構えや、具体的な活動を紹介。既にボランティア活動をされている方でもボランティアをするための基礎知識を改めて知る機会を提供し、実際に体験できる講座を開催することで自分に合った活動の発見と地域の身近な活動に目を向けるきっかけにつなげていくことを目的とし計画しました。

（会場コミセンきたの 定員30名 ）

開催日	テーマ	参加数
第1回(延期) 11月27日(月) 10:00～11:30	「知っておきたいボランティアのツボ」 ～ボランティアを始めてみませんか？～ 講師：白井 恭子氏 (特定非営利活動法人まちづくりスポット大津)	27名
第2回 11月10日(金) 10:00～11:30	「ボランティアでつながる地域と学校」 ～一緒に子育て・地域育て～ 講師 田中 恭子氏(野洲小学校 学校応援コーディネーター) 講師 岩井 和加子 (野洲市ファミリー・サポート・センター コーディネーター)	20名
第3回 12月11日(月) 13:30～15:00	「聞こえに関する支援」～聴覚障がいのある方への理解～ 講師：吉田 久美子氏(要約筆記サークル「チェリー」代表) 講師：五十嵐 芳子氏(手話サークル「ともしび」代表)	27名
第4回 12月15日(金) 13:30～15:00	「琵琶湖よし笛を楽しんでみませんか？」 びわ湖よし笛アンサンブル・やす(演奏&体験会)	16名



□福祉教育活動の推進と福祉活動推進校の支援〔財源：自主財源、共同募金〕

・福祉推進校支援

市内の小・中学校及び高等学校を福祉推進校として指定し、児童・生徒を対象にボランティア活動を通じて身近な福祉問題の理解と関心を高め、社会連帯・社会奉仕の心を養うとともに、児童・生徒を通じて家庭および地域社会へのボランティア精神の啓発を図る活動を促進・支援しました。

学校名	補助額	主な活用事業内容（計画）
野洲小学校	20,000 円	障がいについて学ぶ体験（3年生） 防災マップ作り（4年生） ベルマーク集め（全学年） 手をつなぐ子らの鉛筆等販売（全校） 赤い羽根共同募金（全校） 地域の方と昔遊び交流会（1年生）
北野小学校	20,000 円	総合学習時間での活動 ・盲導犬と視覚障害に対する理解を深める学習を行う。（4年生） ・防災に関しての取り組みについて学習し、校内に広める活動を行う。（4年生） 特別支援学級の子もたちがカレンダー作成 ・全校に配布することで福祉教育への理解を推進する。（全学年）
祇王小学校	20,000 円	ふわふわ言葉の取り組み（年3回） 人権ポスター（標語・詩集）の作成 笑顔委員会の活動 社会福祉施設等の訪問・交流 アイマスク、車椅子等の体験 ボランティア活動 ふれあい活動（全校） 人にやさしい町づくり（3年生） レッツジュニアボランティア（4年生） 五・五交流、新入児一日入学 赤い羽根共同募金
篠原小学校	20,000 円	児童集会や人権のつどいによる住みよい社会の啓発活動（全校） 障がい者の方との交流（3年生） 篠原駅見学／福祉設備（2年生） アイマスク・点字体験学習（3年生） 野洲養護学校との交流（4年生） 5年生と5歳児（子ども園）との交流（5年生） 地域の方の指導による篠原糯の栽培（5年生） 地域の方の指導による篠原焼（陶芸）体験（2、4、6年生） 地域の方と昔遊び交流会（1年生）
中主小学校	20,000 円	校内人権週間：人権作品標語、ポスターの作成・啓発（全学年） 児童による委員会活動：あいさつ運動・人権週間（全学年） 児童によるクラブ滑動：パラスポーツクラブによるパラスポーツ体験 総合学習：「人にやさしい町づくり」 収集活動：家庭と連携したインクカートリッジなどの収集活動 募金活動（委員会活動）：赤い羽根共同募金活動・ユニセフ募金活動

中主中学校	20,000 円	総合学習（1年） 学校だよりやHPで、総合学習や行事の様子を伝える。 福祉体験学習（手話・点字・パラスポーツ等）（1年生） ベルマーク収集、プルトップ回収、コンタクトレンズ空ケース回収（生徒会） 長期休業中の地域貢献活動の実施 生徒会による地域清掃活動「キラキラ中主タウン計画」の実施 生徒会による赤い羽根共同募金への参加
野洲中学校	20,000 円	【7月実施報告】 体験を目的とした実践活動（学校行事での活動） 中学1年生のなかまづくり学習（福祉・人権）として、LAKE SHIGA BBC から2人の講師をお招きし、講演と車いす体験を行った。すべての生徒が、通常の手回し操作の車椅子を体験することができた。事故で体が不自由になり、目の前が真っ暗になったが、車椅子バスケットに出会ったことで自分の可能性に挑戦し続けるというお話を聞き、生徒にとって、とても貴重な機会となった。この機会に恵まれて、生徒たちの「心のバリアフリー」が進んだのではないかと考える。
7校 / 補助額合計 140,000 円		

○福祉学習への協力

・学校名	開催日	内容
中主中学校	2月14日～ 2月16日まで	1年生対象 聴覚障がいについて 協力ボランティア 手話サークル ともしび

【福祉体験学習について】

福祉推進校事業助成金交付申請の送付時、「福祉教育の案内」文書を作成し相談活用いただけるように案内しました。

例：ボランティアグループの活動に参加

会場準備、後片付け・高齢者の方のサポート
ボランティアさんのお手伝いなど



・すまいる☆ギフトプロジェクト（高齢者施設と地域との連携から福祉学習への展開）

コロナ禍で直接施設を訪ねることが難しい中、令和3年度から社協の働きかけにより始まった作品や手紙を通じた「学童保育所子ども達」と「特別養護老人ホーム ぎおうの里」がつながるきっかけづくりの活動を今年度も継続して実施しました。

□善意銀行の運営〔財源：善銀〕

市民の善意の預託(金員・物品)を受け、地域福祉の促進のために、本会の事業や福祉施設、生活困窮者等へ配分し、効果的に活用させていただきました。

預託	預託先	個人	団体	企業	その他	計
	金員預託	9	25	5	0	39件(1,643,759円)
物品預託	54	11	10	0	75件(米、切手、野菜、レトルト食品、缶詰等食料、日用品、介護用品等)	
払出	配分した連携機関	・野洲市家庭相談室・市民生活相談課・地域包括支援センター・市内子ども食堂(3か所) ・障がい者関係団体連絡協議会を通じて各施設へ ・野洲市社協 在宅支援課、相談支援課(貸付相談者)など社協内でつながりのある方へ				
	参加行事	・6月17日(土) ちゅうず子ども食堂おすそ分け会 ・12月24日(日) チュッピーフェア(中主学区) ・2月17日(土) リユース会&交流会 ・子ども食堂主催のおすそ分け会、バザー、野洲市ファミリー・サポート・センター主催のリユース会などに預託された物品を出店				

*市民のみなさんからの寄付を生活困窮など困っている方に配分し、支援が必要な家庭や緊急に対応が必要な方に対応することができました。また、子ども食堂や福祉施設等にも預託物品を届け、有効に活用することができました。

(2) 社会福祉関係団体との協働活動の推進

①福祉団体の育成を図るための支援〔財源：市補助、県社協補助、自主財源、共同募金〕

*民生委員児童委員協議会

民生委員法第24条に定める住民の福祉の増進を図る職務の遂行と、円滑な運営を図ることを目的とする民生委員児童委員協議会の事務局として活動支援を行いました。

【主な活動支援】

- ・総会 6月2日(金)※悪天候により中止 → 書面表決
- ・役員会 12回(毎月第1月曜日)
- ・臨時役員会 1回
- ・各学区定例会 12回×6学区
- ・主任児童委員定例会 12回(毎月第3月曜日)
- ・広報委員会 4回 広報誌「民生委員・児童委員だより」3月発行
- ・湖南地域4市市長等交流会 9月29日(金) 当番市：草津
- ・湖南地域4市主任児童委員交流会 8月31日(木) 当番市：守山
- ・人権研修 12月8日(金)
- ・子育て家庭訪問事業全体研修 2月13日(火)
- ・やすまる広場参加 6月4日(日)

*** 赤十字奉仕団**

日本赤十字社野洲地区事務局として赤十字事業推進のため、奉仕団への指導・援助を行いました。今後、地域ボランティア団体としての役割を広げることを目的に自治会や教育機関、地域活動団体と共同活動ができるよう支援します。

【主な活動支援】

- ・ 赤十字奉仕団野洲地区委員会 年 6 回

*** 介護者家族の会〔財源：自主財源〕**

在宅介護されている家族の会への活動支援を行いました。

今後の活動支援として、より一層、会の周知を図り、野洲市内の介護者家族への支援を行います。

【主な活動支援】

- ・ 介護者家族の会懇談会 12 回（原則毎月第 3 水曜日）
- ・ 懇談会案内 広報誌「社協やす」 年 6 回

*** 野洲市障がい者関係団体連絡協議会**

市内に事業所を有する障がい者関係団体が相互の連携を図り、障がい者福祉の向上とその発展に寄与することを目的としている団体の活動支援を行いました。

【主な活動支援】

- ・ 役員会 7 回

□ 福祉団体育成事業〔財源：市補助金、自主財源、共同募金、善銀〕

市内の福祉団体の活動や事業に対する補助・支援を行いました。

*** 活動助成 計 6 団体 / 補助額合計 300,000 円**

- ・ 野洲市介護者家族の会
- ・ 野洲市民生委員児童委員協議会
- ・ 野洲市老人クラブ連合会
- ・ たんぽぽの会(野洲市精神障がい者患者家族会)
- ・ 野洲市ことばを育む会
- ・ 野洲市ボランティア連絡協議会

*** 事業助成 計 4 団体 / 補助額合計 846,170 円**

- ・ 野洲市遺族会(戦没者慰霊祭、忠魂碑管理料等)
- ・ 中主赤十字奉仕団(一人暮らし高齢者のつどい事業)
- ・ 野洲赤十字奉仕団(//)
- ・ 野洲市障がい者関係団体連絡協議会(障がい者スポーツ大会・福祉をすすめる研修会)

③障がい福祉事業

□障がい者スポーツ大会、福祉をすすめる研修会、福祉交流事業

市内の福祉団体・施設と協働し、障がい者等がスポーツや交流事業を通して、体力の維持及び相互の親睦を図ることを目的に障がい者関係団体連絡協議会と連携し実施に向け開催の検討を行いました。今年度は4年ぶりに開催でき、暑さが和らぐ11月に開催した結果たくさんの方の参加がありました。また福祉をすすめる研修会では映画上映会が実施され障がい者理解を深めることができる映画の内容でした。

福祉交流事業については新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりました。

・障がい者スポーツ大会

日時：11月11日（土）

場所：北野小学校体育館

参加者：85名

・福祉をすすめる研修会

日時：2月10日（土）

場所：コミセンきたの

内容：書家金澤翔子氏「共に生きる」映画上映会

参加者：54名

□サマースクール、スプリングスクール支援

野洲市障がい児サマースクール等運営委員会に参加し、障がい者（児）の理解に努めました。今年度は利用を希望される方よりも支援を希望されるの方が多く登録される傾向にありました。

内 容	期 間	参加職員数
サマースクール	8月1日(火)～8月17日(木) 土・日・祝日・14、15日(火)除く 10日間 9:30～16:00	1名 (ボランティア希望1名)
スプリングスクール	開催なし	-
ホリデースクール おわりの会	3月17日(日)	参加なし

※来年度からホリデースクール廃止へ

- ・利用者の減少（放課後等デイサービス利用の増員）
- ・びわこ学園スタッフの減少

④遺族援護事業〔財源：市補助〕

災害殉職者追悼法要の挙行と戦没者等の慰霊事業等事業助成を行いました。

- ・法要 「昭和28年災害殉職者追悼法要」

9月22日(金) 善福寺

- ・事業助成
 - ・戦没者追悼事業助成金
 - ・御上神社戦没者慰霊祭
 - ・兵主大社戦没者慰霊祭
 - ・忠魂碑維持管理費
 - ・北墓地管理費

Ⅱ. 地域生活を支える仕組みづくり ～安心して相談できる体制～

住み慣れた地域で、安心していきいきと暮らしていくためには、支援が必要な時に、必要な支援が素早く、的確に得られることが重要です。そのためには市民のニーズをなるべく早く正確に把握する仕組みや、市民が相談しやすい環境づくりが必要です。

社会福祉協議会は関係機関等と連携し、身近なところで気軽な相談から専門的な相談まで対応できるよう、ニーズに対応した情報提供や相談体制を整備し、支援を必要とする人が、必要とするサービスを適切に利用できる仕組みづくりに努めました。

1. 断らない相談支援体制づくり

(1) 総合相談事業の実施〔財源：市補助、自主財源〕

日常生活のあらゆる相談に応じるため、常設の相談窓口を設置し、電話や対面での相談に対応しました。必要に応じて関係機関やボランティア活動等の福祉活動とも連携しながら支援しました。

区 分	件数	区 分	件数
家計・食糧支援に関すること	102	子育てに関すること	0
地域の見守りに関すること	15	健康・医療に関すること	2
家族・近隣に関すること	25	生きづらきに関すること	19
ひきこもり支援に関すること	3	その他	357
計 523 件			

【主な相談内容】

- ・近隣住民とのトラブルについての相談
- ・仕事についての相談
- ・他者との関りを求めての相談
- ・生活困窮に伴う食糧支援の相談
- ・学童見守りに関する相談
- ・家族による暴言等に関する相談
- ・親族の金銭管理等に関する相談

※継続的に相談をされる方も多く、ひとり一人に寄り添い、丁寧に話を伺うことを大切に相談業務に取り組みました。

(2) 重層的支援体制整備事業〔財源：市委託〕

□参加支援事業〔財源：市委託〕

既存の各制度の支援では対応できない本人や世帯のニーズ等に対応するため、利用者のニーズや課題など丁寧に把握し、本人と支援メニューのマッチングを行いました。

対象者数	9 名
支援実施回数	47 回
プラン件数（自立支援機関共通）	2 件
終結件数	0 件

□アウトリーチ等を通じた継続的支援事業〔財源：市委託〕

各種会議や関係機関とのネットワークに参加することで潜在的な相談者を見付け、その相談者の困りごとを把握し、支援を必要とされている方に必要な支援が繋がるよう働きかけました。

また、関係者や地域の方が把握されている情報や新たに発見された情報がスムーズに社協・市役所に届けてもらえるよう、Facebook やチラシ等を活用して、各種会議等参加時における地域づくり・アウトリーチ等を通じた継続的支援事業の紹介や啓発に取り組みました。

対象者数	28 名
支援回数	236 回
情報共有	45 回
各種会議、ネットワークへの参加数	6 回



【主な取組】

- ・ 社会福祉協議会にいただいた寄付物品等を活用しお手紙を添え訪問しました。
- ・ 定期的に自宅に訪問しお話を伺いました。
- ・ 困りごとを把握し、必要な支援につながるよう寄り添いながら支援を行いました。

□ひきこもり一斉電話相談への参画

県内には、ひきこもりの方が1万3000人いるとみられ、ひとりでも多くの方が相談をしていただけるきっかけとなるよう県内9団体が協働して一斉電話相談を実施。野洲市社協も参画し、相談窓口を設けました。

開催日	実施状況
9月14日(木)～15日(金)	野洲2件(県内相談総数12件)
2月8日(木)～9日(金)	野洲1件(県内相談総数10件)

□ひきこもり家族教室の開催

ひきこもりについて悩んでおられるご家族・ご本人の社会的孤立を防ぐために、同じ悩みを抱える家族同士が顔を合わせ、語りあい、一息つける場として家族会が県内で開催されています。しかし、ひきこもり者の家族の中には、自分が住んでいる地域では相談がしづらい方もおられるため、保健福祉圏域を越えて行きやすさを感じられる場が求められています。

保健福祉圏域を越えた多様な出会いの場を生み出し、誰もが利用しやすく、安心して参加ができ、そして互いに共感し、自己肯定感を感じることが出来る場として県社協が開催された家族教室のサテライト会場として共催しました。

内 容	第1回 ひきこもり家族教室
開催日	9月26日(火)
会 場	野洲市北部合同庁舎2階 会議室2 (サテライト会場Ⅳ) (本会場：彦根市福祉センター／サテライト会場 4会場 /オンライン)
参加者数	野洲会場10名+スタッフ2名
テーマ 講 師	家族教室～ひきこもり当事者に家族は何ができるのか～ VOSOT 主宰 ぼそっと池井多さん
主催・協力	県社協・市社協(野洲・彦根・大津・長浜・甲賀)・県立精神保健福祉センター

内 容	第2回 ひきこもり家族教室
開催日	12月11日(月)
会 場	野洲市北部合同庁舎2階 会議室1(サテライト会場Ⅱ) (本会場:甲賀市まちづくり活動センター/サテライト会場 4会場 /オンライン)
参加者数	野洲会場5名+スタッフ3名
テーマ 講 師	家族教室~ひきこもり当事者との毎日から~ 青少年支援ハウス 輝 所長 立岡勇一さん
主催・協力	県社協・市社協(野洲・彦根・大津・長浜・甲賀)・県立精神保健福祉センター

□死後事務等に関する取り組みについて

昨年度に取り組んだ勉強会から発展して、今年度は具体的に死後事務委任契約事業を進めていくために、プロジェクトチームを設け、市関係機関や司法書士、県内市社協も含めた協議の場を持ち、事業内容等について検討しました。

日時	場所	協議・検討内容	協議・検討メンバー
4月5日(水) 14:30~15:30	大津市社会福祉協議会	大津市社会福祉協議会の事業(おひとり様ずっと安心モデル事業)に関する聞き取り	大津市社会福祉協議会 野洲市社会福祉協議会
4月7日(金) 13:00~14:00	野洲市社会福祉協議会	プロジェクトチームによる死後事務委任契約事業に関する協議	野洲市社会福祉協議会
4月14日(金) 14:00~16:00	野洲市社会福祉協議会	第1回 地域における身寄りのない方の死後事務等に関する広域勉強会	三久保司法書士 大津市社会福祉協議会 米原市社会福祉協議会 野洲市社会福祉協議会
6月12日(月) 9:30~11:00	健康福祉センター	第1回野洲市重層的支援会議 ※令和5年度生活困窮者等のための地域づくり事業として、みまもりマップの作成、居場所づくり、死後事務委任契約について報告	社会福祉課 市民生活相談課 地域包括支援センター 発達支援センター 野洲市社会福祉協議会
6月15日(木) 13:00~14:00	野洲市社会福祉協議会	プロジェクトチームによる死後事務委任契約事業に関する協議	野洲市社会福祉協議会
7月6日(木) 14:00~15:00	野洲市役所	地域福祉権利擁護事業の契約者である生活保護受給者への支援に関する協議 ※死後事務等に関する方向性を確認	社会福祉課 市民生活相談課 野洲市社会福祉協議会
7月20日(木) 10:00~12:00	野洲市役所	第2回野洲市重層的支援会議 ※実施概要に関する協議	社会福祉課 市民生活相談課 地域包括支援センター 野洲市社会福祉協議会
7月24日(月) 14:00~16:00	野洲市社会福祉協議会	第2回地域における身寄りのない方の死後事務等に関する広域勉強会	三久保司法書士 滋賀県社会福祉協議会 大津市社会福祉協議会 米原市社会福祉協議会 高島市社会福祉協議会 野洲市社会福祉協議会

7月28日(金) 14:30~15:30	野洲市役所	死後事務委任契約事業に関する協議 ※事業計画書に関する協議	社会福祉課 市民生活相談課 野洲市社会福祉協議会
8月25日(金) 15:00~16:30	三久保司法書士事務所	死後事務委任契約事業に関する協議 ※事業計画書、申込書、契約書に関する協議を行い草案を作成	三久保司法書士 市民生活相談課 野洲市社会福祉協議会
9月8日(金) 10:00~11:45	三久保司法書士事務所	死後事務委任契約事業に関する協議 ※事業計画書、申込書、契約書に関する協議を行い草案を作成	三久保司法書士 市民生活相談課 野洲市社会福祉協議会
10月2日(月) 10:00~11:00	野洲市役所	第3回野洲市重層的支援会議 ※新たに作成した事業計画書および契約書等について関係機関に説明を行った	社会福祉課 市民生活相談課 地域包括支援センター 野洲市社会福祉協議会
10月27日(金) 16:00~17:00	野洲市社会福祉協議会	第4回野洲市重層的支援会議 ※モデル的に事業を進めていくにあたり、地域福祉権利擁護事業の契約書で、対象となるケースからモデルケースとして4ケースを選定	三久保司法書士 社会福祉課 市民生活相談課 地域包括支援センター 野洲市社会福祉協議会

※「死後事務」について・・・

亡くなった後の事務的な手続きである。死後の手続きとしては、①役所、関係機関への届け、②葬儀・埋葬手続き、③債務の返済、④遺品整理、住まいの処分、⑤各種サービスの解約、等がある。これらは遺言で依頼できる内容ではなく、死後の手続きを行うには、死後事務委任契約を作成するなどの方法がある。

2. 必要な福祉サービスを届ける仕組みづくり

(1) 地域福祉権利擁護事業〔財源：市補助、県社協補助〕

認知症高齢者、知的障がい・精神障がいのある方で判断能力が不十分な方を対象に、福祉サービスの利用手続きや利用料の支払い、日常的な金銭管理等の援助を行いました。

	認知症高齢者等		知的障がい者等		精神障がい者等		その他		合計	
	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4
初回相談件数 (問合せ含)	30	43	3	7	8	16	6	2	47	68
相談援助件数	1,830	1,255	865	798	2,775	3,584	339	239	5,809	5,876
契約締結件数	6	13	2	2	5	7	1	1	14	23
契約終了件数	8	9	4	4	2	5	1	0	15	18
実利用人数	23	25	16	18	37	34	7	7	83	84

《契約締結件数内訳》

	認知症高齢者等		知的障がい者等		精神障がい者等		その他		合計	
	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4
在宅	5	10	1	0	5	6	1	1	12	17
施設	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
病院	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1
グループホーム	0	0	1	2	0	1	0	0	1	3
生保再掲										
在宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
グループホーム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

《契約終了件数内訳》

	認知症高齢者等		知的障がい者等		精神障がい者等		その他		合計	
	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4
本人希望	0	0	2	0	0	0	1	0	3	0
死亡	4	6	0	1	0	2	0	0	4	9
後見等へ移行	3	3	1	1	1	1	0	0	5	5
その他(転居他)	1	0	1	2	1	2	0	0	3	4
生活保護(再掲)	5	4	1	1	2	1	1	0	9	6

□契約判定審査会

開催日	審査件数	開催日	審査件数
5月9日(火)	1件	10月20日(金)	1件
5月16日(火)	1件	12月11日(月)	3件
5月22日(月)	2件	1月15日(月)	1件
9月4日(月)	1件	2月16日(金)	2件
9月25日(月)	1件	3月26日(火)	1件
10月11日(水)	1件		
計 11回 / 15件			

□解約審査会

開催日	審査件数	解約希望理由
1月29日(月)	1件	本人希望
計 1回 / 1件		

* 日常的金銭管理サービスの支援のみに留まらず、その方が抱える様々な不安や困りごとについて、支援者と連携しながら支援しました。

(具体例)

- ・利用者本人と子ども(知的障がい)が要支援者であり、世帯全体への支援が必要であったケース・・・市役所(複数部署)、養護学校
- ・利用者本人(精神障がい者)に市税や数件のカードローンなどの債権があったケース・・・市役所(複数部署)、障がい福祉サービス事業所、計画相談事業所、司法書士など
- ・利用者本人と世帯全体が要支援者(高齢者・知的障がい者・身体障がい者)であり、世帯全体への支援が必要であったケース・・・市役所(複数部署)、障がい福祉サービス事業所、計画相談事業所、司法書士など
- ・中主中学校のチュッピーコミュニティサークルの皆さんに暑中見舞いのはがきや年賀状の作成をお願いし、地域福祉権利擁護事業を利用されている方々に一言を添え季節のお便りを届けました。



(2)生活福祉資金貸付事業〔財源：県社協補助、市補助、善銀〕

経済的な問題を抱えている方の生活を支援し、世帯の自立を図るため資金の貸付相談を行いました。

□相談実績

区 分		令和5年度	令和4年度
総相談件数(内、申請件数)		110件(71件)	189件(126件)
県社協生活福祉資金貸付相談件数(内、申請件数)	緊急小口資金特例貸付	0件(0件)	40件(37件)
	総合支援資金特例貸付	0件(0件)	41件(37件)
	総合支援資金特例貸付(延長)	0件(0件)	0件(0件)
	総合支援資金特例貸付(再貸付)	0件(0件)	0件(0件)
	総合支援資金	1件(0件)	0件(0件)
	教育支援資金	24件(13件)	7件(7件)
	緊急小口資金	13件(1件)	3件(3件)
	福祉費	12件(0件)	3件(3件)
不動産担保型生活資金	1件(0件)	0件(0件)	
市社協小口福祉資金貸付件数(内、申請件数)		60件(58件)	40件(39件)

□貸付審査会

- ・市社協小口福祉資金貸付審査会：60回

*令和5年1月から始まった特例貸付償還については、今なお生活に困窮されている方も多いため、猶予を経て償還が可能かどうかについて個別に聴き取りを行い、必要な支援につなげていくために一律6カ月の猶予延長がされました。償還が難しい方から償還猶予に関する相談も受け付け、45名の猶予が決定しています。

償還猶予理由内訳(R6.3.31現在)

区 分	件数	区 分	件数
病气療養中	7	失業又は離職中	3
収入減少や不安定就労	20	多重債務で債務整理の可能性がある	1
公共料金等の滞納が続いている	14	その他 同程度の事由で償還困難	0

※今年度から新たに特例貸付における償還猶予期間中の支援(フォローアップ支援)が開始になりました。定期的な生活状況の確認を行いながら、猶予期間終了後に市町社協が「借受人の生活状況等に関する調査意見書」を県に提出、審査を経て免除・再猶予・償還が決定されます。

*市社協小口資金貸付は、貸付54件のうち、特例貸付利用世帯が23件と約半数を占めています。特例貸付利用後も様々な課題を抱えておられる方の相談に対応しました。

*寄付でいただいた物品を活用することで、緊急時における支援をタイムリーに行うことができ、相談者が困った時に困ったと社協に伝えてもらえる関係性を築くことができました。

*自身の困りごとを困ったと伝えられない、または認識していない相談者(返済が滞っている世帯を含む)に対して、今回実施した「よりそい生活応援事業」のような繋がるためのツールはある一定の効果があったものの、それだけでは不十分であることもわかりました。気軽に困りごとを相談してもらえる体制作りと、新たなツールの開発に向けて検討していきます。

よりそい生活応援事業

【クーポン券】



【食材支援】



【事業の概要と効果】

特例貸付フォローアップ支援対象者と市社協小口資金(R2に貸付)未返済の方に対して、赤い羽根共同募金の助成金を受け、「よりそい生活応援事業」としてクーポン券のお渡しと食料支援をさせていただき、この事業を通して連絡がつかなかった世帯につながる事ができ、社協本来の一人ひとりに寄り添った相談支援につながりました。

また、その後も継続した面談を行うことで信頼関係の構築や必要な支援につなげることができました。

【償還免除決定内訳】

	非課税		次年度(非)		任意		個人再生		死亡		破産		合計	
	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4
緊急小口資金	28	193	16	0	6	2	1	0	0	3	0	1	51	199
総合支援(初回)	24	182	10	0	5	3	1	0	0	3	0	2	40	190
総合支援(延長)	72	0	0	0	4	0	0	0	2	1	0	1	78	2
総合支援(再貸)	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	1	1	4	2

※R6.3.31 現在、償還免除決定は 566 件となりました。

(3) ファミリー・サポート・センター事業〔財源：市委託〕

子育て家庭の仕事と育児の両立を地域で支援するため、さらに育児に対する不安のある保護者や地域において孤立しがちな保護者に対して支援し、子どもの健やかな成長を見守ることを目的として、子育てを援助したい人と子育ての援助を受けたい人が、会員になってお互いに助けあえるように相談・調整して支援を行いました。

野洲市子育て支援センターと連携し、安心した支援につながるようファミサポの紹介や活動時の預かりの場として活用させていただきました。

子育て支援団体のイベントやアルプラ野洲でファミサポ登録会を実施し、口コミやホームページ、Facebook 記事などで子育て情報の発信を行いました。

□会員数

区 分	令和 5 年度	令和 4 年度
おねがい会員	278 名	289 名
まかせて会員	88 名	92 名
どっちも会員	51 名	50 名
合 計	417 名	431 名

□会員事前打ち合わせ 107 回 うち、土日祝の打ち合わせ 21 回

□ファミサポ登録会 3 回 (交流会やアルプラ相談会等にて)

□ファミサポ紹介 子育て支援センター 3 回、アルプラ野洲 1 回
地域の子育て支援団体等 15 回、子育てサロン 1 回
ボランティア応援講座 1 回

□活動別事業報告

活 動 内 容	令和 5 年度	令和 4 年度
保育所・幼稚園の登園前の預かり及び送り	32 件	0 件
保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	15 件	22 件
保育所・幼稚園の送迎	890 件	845 件
学童の登校前の預かり及び送り	0 件	22 件
学童の送迎	29 件	16 件
学童の迎え及び放課後の預かり	45 件	0 件
学童保育所の朝の預かり及び送り	5 件	3 件
学童保育所終了後の送迎	185 件	281 件

学童保育所の迎え及び帰宅後の預かり	17 件	3 件
保育所・学校等休み時の援助	32 件	14 件
保育所等施設入所前の援助	0 件	0 件
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	26 件	8 件
保護者等の求職活動中の援助	0 件	1 件
保護者等の他の子どもの学校行事の場合の援助	0 件	7 件
保護者等の外出の場合の援助	56 件	66 件
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	11 件	0 件
子どもの病後時の預かり	0 件	0 件
習い事の送迎	206 件	145 件
その他	55 件	122 件
計	1,604 件	1,555 件

□講習会の開催

	開催日	内容・テーマ	参加者数
第 1 回	10 月 18 日(水)	発達障がいの理解と支援について	28 名
第 2 回	10 月 25 日(水)	「車のリスクマネジメント」 (守山市ファミサポと合同研修)	6 名
第 3 回	11 月 27 日(月)	「ボランティア入門」 ～ボランティアを始めてみませんか～	30 名 (会員 4 名参加)
第 4 回	11 月 8 日(水)	日赤幼児安全法①事故の予防と手当	8 名
第 5 回	11 月 10 日(金)	「地域で子どもたちを育てていこう」 ～少しのボランティアが力に～	22 名 (会員 4 名参加)
第 6 回	11 月 15 日(水)	日赤幼児安全法②病気と看病の仕方	6 名
第 7 回	11 月 22 日(水)	日赤幼児安全法③心肺蘇生・AED の使い方	5 名
第 8 回	12 月 11 日(月)	「聞こえに関する支援」 ～聴覚障がいのある方への理解～	30 名 (会員 3 名参加)
第 9 回	12 月 16 日(土)	「親子でアロマクラフト♡」 ～アロマで癒されるバスボム・せっけんづくり～	15 名 子ども 5 名含む
第 10 回	1 月 15 日(月)	「琵琶湖よし笛を楽しんでみませんか？」演奏&体験会	19 名 (会員 2 名参加)
第 11 回	1 月 14 日(日)	今だからこそ 聴きたい！知りたい！ 「みんなで防災講座」	15 名 子ども 2 名含む

□交流会の開催

	開催日	内容・テーマ	参加者数
第 1 回	10 月 25 日(水)	まかせて・どっちも会員懇談会①	6 名
第 2 回	2 月 17 日(土)	「子ども用品リユース会&交流会」・ ファミサポ登録会	92 名
第 3 回	3 月 1 日(金)	まかせて・どっちも会員懇談会② 一年を振り返って、ヒヤリハット	7 名

□会報発行：会員対象にファミサポの情報を掲載した会報を発行(12月) 1回

- *野洲市子育て支援センターや子育て支援団体等の活動時に伺い、ファミサポの紹介やホームページやFacebookで紹介・周知したことで、ファミサポを知って入会される方が増え、困っておられる方のサポートや安心にもつながっています。
 - *補償保険制度に加入し、お子様のもしもの時の備えや感染症補償制度や車の補償保険にも加入し、安心してサポートができる体制を整えました。
 - *令和6年1月よりまかせて会員が負担されていた車のサポート時のガソリン代について、おねがい会員負担となりました。(実費徴収 1キロ 20円)
 - *今後も必要とされる方に情報が届くように、ファミサポの良さ・活動について、子育て情報等を発信し、安心して利用できるように、まかせて会員・どっちも会員の確保に努めていきます。
- ※まかせて会員・どっちも会員の拡充が大きな課題です。
- *ファミサポだけではサポートできないことは、子育て団体や市民団体、企業、その他必要な方々と連携し、つなぐ。野洲市が子育てしやすい街となるようにしていきます。



(4)障がい者相談支援事業

①一般相談支援〔財源：市委託〕

障がいのある人の福祉に関する様々な問題について相談に応じ、必要な情報の提供、障がい福祉サービスの利用支援等を行うほか、権利擁護のために必要な援助も行いました。(単位:件)

相談内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
福祉サービスの利用等に関する支援	124	83	104	65	106	106	90	80	80	86	63	69	1,056
就労に関する支援	6	1	1	1	4	9	11	12	6	15	9	7	82
社会参加・余暇支援活動に関する支援	13	4	12	1	8	20	11	27	12	24	15	29	176
保育・教育に関する支援	2	2	3	3	6	7	4	3	4	4	2	5	45
障がいや症状の理解に関する支援	89	72	98	59	94	81	60	63	69	75	47	64	871
健康・医療に関する支援	36	16	38	13	39	32	18	19	27	26	22	56	342
不安の解消・情緒不安に関する支援	43	21	23	16	54	48	33	59	47	56	45	65	510
家族関係・人間関係に関する支援	13	7	8	7	26	37	13	31	30	41	27	53	293
家計・経済に関する支援	1	3	4	0	7	9	16	14	29	19	21	37	160
生活技術に関する支援	6	34	63	35	44	72	53	68	67	74	43	66	625
権利擁護に関する支援	2	0	0	0	0	3	4	1	1	2	1	2	16
その他	87	79	96	61	91	78	52	64	64	68	41	52	833
計	422	322	450	261	479	502	365	441	436	490	336	505	5,009

※1件の相談に複数の相談内容が含まれている場合は、それぞれの区分に重複してカウントしています。

□(相談支援利用者(児)の区分別人数)

区分	身体	重症心身	知的	精神	発達	高次脳機能	難病	その他	計
障がい者	37	2	152	34	4	3	2	0	234
障がい児	3	3	46	1	26	0	0	0	79
計	40	5	198	35	30	3	2	0	313

(区分の重複あり/実人数 267人)

□会議への参加、訪問来所の件数

(会議への参加件数)

区分	件数
ケース会議	247
その他の会議	340
計	587

(訪問・来所の件数)

区分	件数
訪問件数	674
来所件数	84
計	758

②計画相談支援(特定相談支援事業・障がい児相談支援事業)〔財源：事業報酬〕

サービス等利用計画についての相談・作成などの支援が必要と認められる場合に、障がい者(児)の自立した生活を支え、各々が抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、本人・家族の希望を確認しながらきめ細かく支援しました。また一人一人の特性にあったサービスが提供されているか、他に課題がないか定期的なモニタリングを行いました。

(単位:件)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
契約件数	265	264	267	267	266	269	268	269	269	268	268	267	-
利用計画	41	22	21	19	17	16	22	39	24	21	24	26	292
モニタリング	33	41	46	72	53	34	45	40	34	64	44	138	644
担当者会議	37	20	40	27	33	25	35	24	29	20	40	14	344

*今年度はコロナ禍前(令和2年)の支援に戻り、対面の相談支援を中心に行いました。対面での支援として、モニタリングについては作業所やグループホーム等に訪問し、利用者の様子を確認しながらスタッフにもサービス時の様子を聞き取りました。訪問中心の支援に重点を置きながら、電話での相談支援も多く、利用者によっては電話を毎日複数回かけてくる方もおられ、電話で話を聞くことで気持ちが安定しているケースもあります。児童についての支援では養護学校の小学部や中学部の先生と情報共有しながら連携したり高等部の方については、就労アセスメントや進路懇談会、ケース会議に参加し卒業後の進路に沿って支援をどのように行っていくかの検討を行いました。施設入所について、グループホームへの入所に結びつけられたケースも複数ありましたが、グループホームでの対応が難しい方については県外の施設の見学にも同行しました。虐待ケースや要保護のケースにおいては、新しく関わったケースが複数あり相談支援としての関わりの中で支援を行いました。

(5) 居宅介護支援事業〔財源：事業報酬〕

介護保険サービスの利用者(要介護1以上)及び家族等からの相談に介護支援専門員(ケアマネジャー)が応じ、利用者及び家族の希望や心身の状態を考慮し、地域資源を含めた適切なサービスが利用できるように、市・事業所・施設等との連絡調整を行い、居宅サービス計画の作成を行いました。(月別計画件数)

年度\月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	月平均
令和5年度	82	84	88	90	87	92	95	88	86	88	89	88	1,057	88.1
令和4年度	82	84	80	79	74	80	82	82	82	83	82	85	975	81.3

(介護度別延べ件数)

年度\区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
令和5年度	405 38.3%	360 34.1%	173 16.4%	85 8.0%	34 3.2%	1,057 100%
令和4年度	334 34.3%	298 30.6%	204 21.0%	93 9.5%	46 4.6%	975 100%

- ・ケアマネジャー3名で業務を担当し、今年度は新規契約37名(家族依頼19名、野洲市地域包括支援センター紹介14名、要支援から移行2名、施設・病院紹介2名)の受け入れが出来ました。
- ・介護度別では要介護1・2の方が多く、72.4%を占めています。

□介護予防ケアマネジメント・介護予防支援事業〔財源：市委託〕

野洲市地域包括支援センターから委託を受け、要支援1・2と認定された方へのプランを作成しました。

(月別計画件数)

年度\月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	月平均
令和5年度	8	6	9	8	10	10	10	9	11	10	11	10	112	9.3
令和4年度	7	9	9	9	9	9	9	9	8	9	7	8	102	8.5

(介護度別延べ件数)

年度\区分	要支援1	要支援2	合計
令和5年度	32 28.6%	80 71.4%	112 100%
令和4年度	46 45.1%	56 54.9%	102 100%

□介護支援専門員実務研修実習受入れ 実習期間：令和6年2月5日～2月26日(内21時間)

実習内容：訪問4回、会議2回、振り返り・カンファレンス10回、
模擬ケアプラン確認2回
受入れ数：1名(野洲市内在住者)

□居宅介護支援担当職員研修

開催日	研修名	主催
6月19日(月)	新型コロナウイルス感染症にも役立つ感染予防の基礎を学ぶ	滋賀県医科大学医学部附属病院
8月5日(土)	第19回 野洲市人権教育	滋賀県南部健康福祉事務所
9月11日(月)～ 12月12日(火)	令和5年度滋賀県主任介護支援専門員研修	滋賀県社会福祉協議会
9月13日(水)	びわこ南部地域人権啓発連続講座	みくも地域人権福祉市民交流センター
10月31日(火)	中主中学校圏域包括ケア会議及び第2層協議体の開催について	野洲市高齢福祉課/野洲市社会福祉協議会

□野洲市居宅介護支援事業所連絡会議

開催日	研修内容	参加者数
4月19日(水)	高齢者・福祉・介護保険・地域包括支援センター実施事業について	1名
5月17日(水)	講義：「抱え上げない介護とは」	2名
6月23日(金)	講義：「在宅看取りについて」	1名
7月11日(火)	座談会：「お薬にまつわる困りごとややりたいこと、かかりつけ薬局と連携したいことやできることについて～近くの薬剤師さんとおはなし会～」	1名

9月20日(水)	事例検討会：44歳、脳梗塞の後遺症で高次脳機能障害がのこっているが望む暮らしにどこまで近づけるか	2名
10月18日(水)	成年後見制度について ～基本的な制度理解と対象者を適切につなぐためにケアマネジャーが知っておくと良いこと	2名
11月9日(木)	透析療養生活の実態について ～透析療養者の生活に寄り添った支援のために	2名
3月4日(月)	アルコール依存症について	3名

*新型コロナウイルス感染症が5類へ移行、感染者数も減少しました。しかし、罹患された方の重篤化は有りませんでした。在宅療養のため通所・短期入所系サービスの利用が出来ず介護者の負担増が有りました。日常業務では、各関係機関との連携を図りつつ、地域福祉権利擁護事業や障がい者相談支援事業の担当者と組織内で連携し、個別の課題に対しそれぞれの立場から同じ目標に向かって支援しました。また、災害の多い昨今、平常時から利用者ごとの災害時の課題に向けた対策作りを進めていきます。

(6)車椅子貸出事業〔財源：善銀〕

日常の利便性を図ることを目的とし一時的に車椅子を必要とする人への貸し出しや福祉体験学習の一環として学校への車椅子の貸し出しを実施しました。

また、貸出時にアセスメントを行うことで、適切なサービス利用相談を行い、関係者に繋ぐことが出来ました。

今後、自治会・サロン等への貸し出しにつながるよう、自治会のニーズ把握・サロンでの移動支援等提案などが必要であると考えます。

【貸出先・延べ貸出回数】

	個人	学校	自治会・サロン	その他	計
令和5年度	2,182台	280台	14台	57台	2,533台
令和4年度	1,489台	378台	0台	108台	1,975台
令和3年度	1,089台	507台	0台	23台	1,619台

(7) 学童保育所運営事業〔財源：市指定管理〕

保護者が労働等により昼間家庭にいない児童に対し、放課後等で適切な遊び及び生活の場を提供し、児童の健全育成を図りました。

□通常保育（在籍児童推移）

（単位：名）

学童保育所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北野第1	56	55	54	54	55	53	52	53	53	52	51	51
北野第2	56	56	56	54	55	54	52	49	50	48	45	44
北野第3	56	56	55	56	55	55	55	53	53	51	49	49
北野第4	55	57	59	59	59	60	60	59	59	58	58	58
北野音楽室	65	64	63	59	55	42	41	36	33	33	32	31
祇王第1	42	44	44	44	44	44	43	43	43	42	42	42
祇王第3	41	41	42	42	42	36	36	35	33	33	33	33
祇王第4	40	38	40	40	40	39	39	39	39	39	38	38
祇王第5	35	35	36	35	35	33	33	33	33	33	32	30
祇王第6	39	40	40	40	40	36	35	35	35	35	35	35
篠原第1	49	51	52	52	49	46	46	44	43	41	38	35
篠原第2	23	23	22	22	22	22	22	22	22	21	19	19
中主第1	53	53	53	53	53	49	48	47	47	46	40	39
中主第2	41	42	41	42	42	42	41	39	39	39	37	36
中主第3	60	62	62	62	62	58	53	53	52	49	47	47
中主第4	63	62	61	61	61	56	56	56	54	52	52	52
三上第1	32	31	30	32	32	31	31	31	31	31	30	27
三上第2	31	31	31	32	32	29	29	29	27	27	26	25
野洲第1	45	45	45	45	45	45	45	45	44	44	43	42
野洲第2	41	41	41	41	41	41	40	40	40	40	40	40
野洲第3	40	40	40	38	37	36	36	36	35	35	34	32
野洲第4	39	40	40	40	39	37	37	37	37	36	36	34
野洲第5	41	41	40	40	41	37	36	36	35	36	36	35
野洲第6	37	38	38	39	39	33	33	31	31	31	30	31
野洲第7	40	41	41	41	40	39	37	37	35	35	35	35
合計児童数	1,120	1,127	1,126	1,123	1,115	1,053	1,036	1,018	1,003	987	958	940
前年児童数	1,002	1,097	1,099	1,097	1,083	1,003	976	976	968	963	950	938
前年比	118	30	27	26	32	50	60	42	35	24	8	2

※祇王第2学童保育所は、利用者数を勘案して閉所しています。

□土曜保育（在籍児童推移）

学童保育所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北野第3・4	56	55	53	54	54	46	50	45	47	50	45	46
前年児童数	54	52	48	50	49	51	48	42	48	46	42	42
前年比	2	3	5	4	5	-5	2	3	-1	4	3	4

保育場所 北野第3・4学童保育所(合同保育)

□学童保育所運営協議会

学童保育所運営に関わる内容について報告や課題の協議を行いました。

(行政担当、小学校、民生委員・児童委員、自治会、保護者代表、指導員代表にて委員構成)

開催日	協議・報告内容
7月13日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度 野洲市学童保育所入所児童の状況について ・令和5年度 学童保育所夏季保育における昼食提供について ・令和5年度 学童保育所活動紹介について
1月25日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度 野洲市学童保育所入所児童の状況について ・令和5年度 夏季保育における昼食提供とアンケート調査について ・令和5年度 学童保育所活動紹介について
3月19日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度 野洲市学童保育所入所状況と開所予定について ・令和6年度 野洲市学童保育所利用施設の予定について ・令和5年度 学童保育所活動紹介について

*会議内容については、会議録をホームページに掲載し、広く市民に周知を図りました。

□学童保育所職員研修

開催日	研修内容	参加者
5月31日(水)	しがこども体験活動指導者研修会 (ZOOM)	5名
6月26日(月)	人権啓発基礎研修会	4名
6月27日(火)	保育交流研修 (新人研修)	10名
6月28日~30日(延べ3日)	普通救命講習	26名
7月4日(火)	全員研修会 (学童保育指導員)	118名
7月4日~5日(2日間)	保育交流研修 (新人研修)	14名
6月25日~10月9日(延べ5日)	放課後児童支援員等資質向上研修 (ZOOM 他)	11名
9月5日(火)	小児アレルギー疾患対策地域関係者研修	26名
9月21日(木)	滋賀県放課後児童クラブ施設長研修 (第1回)	6名
10月3日~12月15日(延べ8日)	滋賀県放課後児童支援員認定資格研修 (ZOOM)	11名
10月18日(水)	発達障がいの理解と支援	24名
11月10日(金)	滋賀県放課後児童クラブ施設長研修 (第2回)	4名
11月21日(火)	野洲市発達支援センター巡回訪問報告会	46名
12月5日(火)	発達特性のある子ども・若者が SNS やスマホで失敗しないために	13名
2月4日(日)	発達障がいのある人の就労について	4名
2月20日~3月7日(延べ6日)	職員 (学童保育指導員) 人権研修	102名

□野洲市こどもの家(学童保育所)入所案内説明会

・令和6年度学童保育所の入所申込みについての説明会を開催しました。

*開催日：10月22日(日) コミュニティセンターなかさと 大ホール

市内全小学校区の新規入所希望者

参加者 55名 (保育 19名)

□野洲市学童保育所入所準備説明会

・令和6年度新規利用者を対象に、学童保育所での生活や注意事項等を「入所のしおり」をもとに説明する機会として準備説明会を開催しました。

*開催日：2月18日(日) コミュニティセンターきたの 大ホール

市内全小学校区の新規入所児童の保護者

参加者 92名 (保育 30名)

□緊急情報一斉メール配信システム

- ・学童保育所の緊急情報のメール配信を実施しました。

	配信日	タイトル	内容
1	6月1日(木)	野洲市内小学校終業時刻の繰上げにともなう学童保育所の対応について	大雨の影響による小学校の終業時刻の繰上げにともなう学童保育所の児童受入体制の連絡
2	6月22日(木) 6月23日(金) 6月26日(月)	小学校学級閉鎖にともなう学童保育所の対応について	学級閉鎖にともなう学童保育所の児童受入の連絡
3	7月14日(金)	夏休み期間中の昼食提供について	夏休み昼食提供（提供日と申込方法、昼食メニュー）の案内
4	8月14日(月)	8月15日(火) こどもの家(学童保育所)の臨時閉所について	台風第7号の影響により、暴風警報等の発表が予想されることによる学童保育所の臨時閉所の連絡
5	9月4日(月) ～9月14日(木)	小学校学級閉鎖に伴う学童保育所の対応について	期間中 16 件配信 学級閉鎖期間中における学童保育所の児童受入の連絡
6	11月6日(月) ～11月30日(木)	小学校学級閉鎖に伴う学童保育所の対応について	期間中 11 配信 学級閉鎖期間中における学童保育所の児童受入の連絡
7	12月1日(金) ～12月14日(木)	小学校学級閉鎖に伴う学童保育所の対応について	期間中 11 配信 学級閉鎖期間中における学童保育所の児童受入の連絡
8	1月15日(月) ～1月31日(水)	小学校学級閉鎖に伴う学童保育所の対応について	期間中 12 配信 学級閉鎖期間中における学童保育所の児童受入の連絡
9	2月1日(木) ～2月27日(火)	小学校学級閉鎖に伴う学童保育所の対応について	期間中 16 配信 学級閉鎖期間中における学童保育所の児童受入の連絡
10	3月4日(月) ～3月18日(月)	小学校学級閉鎖に伴う学童保育所の対応について	期間中 16 配信 学級閉鎖期間中における学童保育所の児童受入の連絡

□学童保育所の昼食提供

- ・保護者の負担軽減を図るため、夏休み期間中（8月に3回）に、昼食提供を実施しました。
- ・弁当提供：(株)平和堂フレンドマート中主店
- ・弁当配送：日本通運（株）滋賀支店
- ・利用状況

学区：学童保育所	児童数	7月31日	8月7日	8月21日	3日平均	利用率
北野第1～4学童保育所	275	89	112	106	102.3	37.2%
祇王第1～6学童保育所	201	51	63	53	55.6	27.7%
三上第1・2学童保育所	62	24	28	27	26.3	42.5%
篠原第1・2学童保育所	71	18	19	18	18.3	25.8%
中主第1～4学童保育所	218	51	65	62	59.3	27.2%
野洲第1～7学童保育所	281	72	105	86	87.6	31.2%
計	1,108	305	392	352	349.6	31.6%

□安全計画に基づき訓練実施

学童保育所施設にて、避難訓練（火災、地震）と防犯訓練を実施して児童の緊急時における対応について学ぶ機会を持ちました。

施設拠点	野洲第1-6学童保育所		野洲第7学童保育所		北野第1.2学童保育所		北野第3.4学童保育所		祇王第1学童保育所	
	日時	参加数	日時	参加数	日時	参加数	日時	参加数	日時	参加数
避難訓練（火災）	10月11日	152	10月18日	29	5月9日	91	5月9日	99	7月25日	40
避難訓練（地震）	4月6日	179	6月9日	24	3月22日	60	3月22日	81	7月25日	40
防犯訓練	1月17日	146	1月24日	23	12月22日	61	12月22日	86	12月20日	25
施設拠点	祇王第3-6学童保育所		三上第1.2学童保育所		篠原第1.2学童保育所		中主第1.2学童保育所		中主第3.4学童保育所	
	日時	参加数	日時	参加数	日時	参加数	日時	参加数	日時	参加数
避難訓練（火災）	7月25日	130			1月18日	31	12月6日	41	12月6日	63
避難訓練（地震）	7月25日	130	11月22日	31	4月4日	60	4月7日	69	4月7日	85
防犯訓練	12月20日	106	2月21日	31	11月21日	46	3月13日	37	3月13日	42

□利用者数の推移と学童保育所数

利用児童・運営推移(5月1日現在)

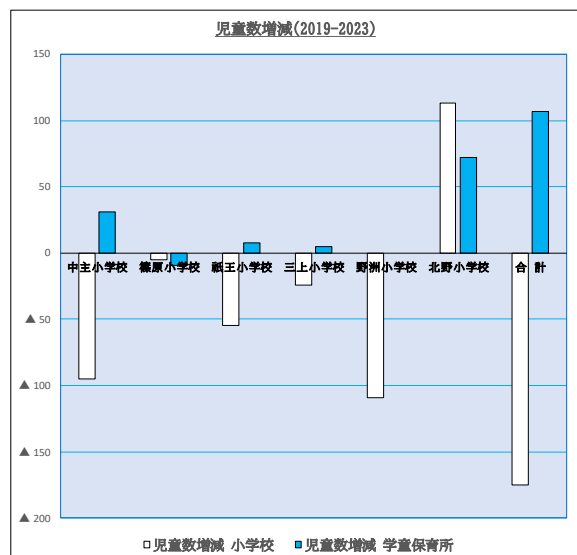
年度	利用児童	開設	備考
令和元年度	1,022人	23学童保育所	
令和2年度	1,066人	24学童保育所	(※篠原第2学童保育所を開所)
令和3年度	1,027人	24学童保育所	
令和4年度	1,097人	24学童保育所	(※北野小学校第1.2音楽室通年利用)
令和5年度	1,127人	25学童保育所	(※北野小学校第1.2音楽室を開所)

*学童保育所においては、令和5年度も1,000名を超える利用児童があり、市内小学校に通学する児童の内、39.8%が利用登録しています。

*令和元年から令和5年の5年間の推移として、小学校児童数が減少している中で学童保育所利用児童は、100名以上増加しています。

	令和元年(2019)5月1日現在		令和5年(2023)5月1日現在		児童数増減	
	小学校	学童保育所	小学校	学童保育所	小学校	学童保育所
中主小学校	681	188	586	219	▲95	31
篠原小学校	168	83	163	74	▲5	▲9
祇王小学校	529	192	474	198	▲55	6
三上小学校	196	57	172	62	▲24	5
野洲小学校	826	286	717	286	▲109	0
北野小学校	608	216	721	288	113	72
合計	3,008	1,022	2,833	1,127	▲175	105

在籍率
34.0%
39.8%
±5.8%



3. 市民の権利を守る体制づくり

(1) 社協が実施する相談支援事業での取組

利用者や相談者の権利を守り、判断能力が不十分な人が地域で生活をするための支援を行いました。

- ・ 地域福祉権利擁護事業
- ・ 福祉資金・生活福祉資金貸付事業
- ・ ファミリー・サポート・センター事業
- ・ 障がい者相談支援事業
- ・ 居宅介護支援事業 など

(2) 虐待・権利侵害の疑いのあるケースの相談・通報

虐待や権利侵害（疑いも含む）について関係機関と連携して対応しました。

事業	対応ケース数	延べ通報件数
地域福祉権利擁護事業	0件	0件
総合相談事業	2件	1件
ファミリー・サポート・センター事業	10件	2件
学童保育所運営事業	6件	2件
障がい者相談支援事業	22件	1件
居宅介護支援事業	5件	5件

Ⅲ. 分野や立場を超えた支えあいづくり ～多種多様なネットワークの構築～

市民やその世帯が抱える課題が複雑多様化し、単一機関、単一分野だけの支援では対応できません。いわゆる福祉分野の連携はもとより、教育や就労などの多分野連携、医療関係者や法律家などの専門職による同業・異業の多職種連携、市民と市、事業者と社会福祉協議会など、多種多様なネットワークによる支援が求められています。

すべての人が安心して生活を送ることができるよう、分野や立場を超えた支えあいを推進しました。

(1) 多機関・多分野との連携〔財源：自主財源〕

地域福祉に必要な基盤整備と必要な福祉サービスの充実、関係機関をつなぐネットワーク化に取り組みました。

地域での支えあいが各地域で広がるよう、さまざまな分野の関係者・企業・団体等と連携し取り組みました。

□地域交流拠点、相談窓口の開設

①アルプラザ野洲店との連携「おとなRE イベント」

アルプラザ野洲を地域交流拠点として活用しました。

4月～8月 毎月第3金曜日 14：30～15：30

1月～3月 毎月第2水曜日 10：00～12：00

開催日	内容	協力団体等
4月21日(金)	サロン備品紹介	
5月19日(金)	民生委員児童委員活動紹介	野洲学区・三上学区民生委員児童委員協議会
6月16日(金)	消しゴムハンコでポストカード作り	消しゴムハンコボランティア「心愛」
7月21日(金)	姿勢講座	福田 健一郎氏 (姿勢科学士・姿勢調整師)
8月18日(金)	ベビーダンス&バルーン体験 消しゴムハンコでポストカード作り	ママリンクサロン小西氏 消しゴムハンコボランティア「心愛」
1月10日(水) 2月14日(水) 3月13日(水)	はーとくんカフェ 地域での居場所作りを目的として、会話や折り紙などを楽しむ	



□ちゅうず子ども食堂・おすそわけ会、チュッピーフェア

地域のボランティアグループ『アクティブ・サービス』が中心となり地域のつながりづくり・貧困対策を目的として『ちゅうず子ども食堂』『おすそわけ会』を実施されています。また『チュッピーフェア』は、中主学区のボランティアや中主小中学校運営協議会、中主中学校ボランティアサークルが参加し、軽トラ市や模擬店、餅つき大会など世代間交流を通して、地域住民がお互い支え合い助け合う地域を目指して行われています。

これらの活動に、社協へ寄付していただいた食料品等を活用して参加し、支援を必要とされている方に届けられる仕組みづくりに社協もともに取り組みました。

(2) 共同募金を通じた地域福祉の理解促進

・街頭募金

福祉教育の一環として、中主中学校ボランティアサークル、野洲・中主学童保育所と連携して街頭募金運動を実施しました。

実施日	場 所	参加者
10月6日(金)	ザ・ビッグエクストラ中主店	中主中学校ボランティアサークル 中主学童保育所
	フレンドマート中主店	中主学童保育所
10月20日(金)	アルプラザ野洲店	野洲学童保育所



(3) 民生委員・児童委員等、関係機関との連携

民生委員・児童委員等をはじめとした関係機関と、支援を必要とする人が地域で安心して暮らせるよう連携しました。相談窓口として社会福祉協議会や市役所へ支援を必要とする方をつないでもらえるよう、各種会議での案内やチラシでの紹介による啓発を行いました。

IV. 推進体制の充実・強化

今年度は令和元年度から進行管理してきた第1次中長期経営計画の最終年度ということで、刷新した組織体制による法人運営に務めました。また、第1次中長期経営計画での各部門での取組内容について評価し、次期計画でも継続して取組むべき内容を抽出・整理しながら、令和6年度から5年間の組織基盤の強化と法人運営の方向性を定めるため、職員内でプロジェクトチームを編成し、第2次中長期経営計画を策定しました。

1. 会務の運営

(1) 役員会等の開催

本会の定款に基づき、地域福祉の推進を図るため、正副会長会2回、理事会4回、評議員会2回、監事会1回、評議員選任・解任委員会1回を開催しました。また、本会の経営基盤の強化を図るために設置した経営委員会を1回開催しました。

□正副会長会の開催

開催日／出席数	協議事項
5月30日(火) ◇会長 1名 ◇副会長 2名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度 野洲市社会福祉協議会 事業報告について ・令和4年度 野洲市社会福祉協議会 一般会計決算について ・令和5年度 野洲市社会福祉協議会 一般会計補正予算第1号について ・定款の一部改正について ・役員の任期満了に伴う評議員会に提出する次期役員候補者の選定について ・評議員の補充選任に伴う評議員選任・解任委員会に提出する評議員選任候補者の推薦について ・評議員選任・解任委員会の招集について ・令和5年度第1回評議員会の招集について
2月29日(木) ◇会長 1名 ◇副会長 1名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度 野洲市社会福祉協議会 事業計画(案)について ・令和6年度 野洲市社会福祉協議会 一般会計予算(案)について

□理事会の開催

開催日／出席数	決議事項 / 報告事項
6月9日(金) ◇理事 13名 ◇監事 2名	報告事項 職務執行状況報告 第1号議案 令和4年度 野洲市社会福祉協議会 事業報告について 第2号議案 令和4年度 野洲市社会福祉協議会 一般会計決算について 第3号議案 令和5年度 野洲市社会福祉協議会 一般会計補正予算第1号について 第4号議案 定款の一部改正について 第5号議案 役員の任期満了に伴う評議員会に提出する次期役員候補者の選定について 第6号議案 評議員の補充選任に伴う評議員選任・解任委員会に提出する評議員選任候補者の推薦について 第7号議案 評議員選任・解任委員会の招集について 第8号議案 令和5年度 第1回 評議員会の招集について
6月27日(火) ◇理事 13名 ◇監事 2名	第9号議案 会長・副会長の選定について 第10号議案 常務理事の選定について 第11号議案 経営委員の選任について その他 第1次中長期経営計画の進捗について その他 第3期野洲市地域福祉基本計画の進捗について

12月15日(金) ◇理事 13名 ◇監事 2名	報告事項 職務執行状況報告 第12号議案 職員就業規則の改正について
3月12日(火) ◇理事 11名 ◇監事 1名	報告事項 給与表の改正 第13号 令和5年度 野洲市社会福祉協議会 一般会計補正予算第2号について 第14号 第2次中期経営計画の承認について 第15号 令和6年度 野洲市社会福祉協議会 事業計画について 第16号 令和6年度 野洲市社会福祉協議会 一般会計予算について 第17号 定款の一部改正について 第18号 指定特定相談支援事業所及び指定障害児相談支援事業所「野洲市社協障がい者相談支援センター」運営規程の一部改正について 第19号 居宅介護支援事業所運営規程の一部改正について 第20号 役員等賠償責任保険契約の締結および本会の保険料負担について 第21号 令和5年度第2回評議員会の招集について その他 野洲市災害ボランティアセンター運営の手引きについて

□評議員会の開催

開催日／出席数	決議事項
6月27日(火) ◇評議員 25名 ◇理事 2名 ◇監事 1名	第1号議案 令和4年度 野洲市社会福祉協議会 事業報告について 第2号議案 令和4年度 野洲市社会福祉協議会 一般会計決算について 第3号議案 令和5年度 野洲市社会福祉協議会 一般会計補正予算第1号について 第4号 定款の一部改正について 第5号 任期満了に伴う次期役員を選任について
3月27日(水) ◇評議員 24名 ◇理事 2名	第6号 令和5年度 野洲市社会福祉協議会 一般会計補正予算第2について 第7号 令和6年度 野洲市社会福祉協議会 事業計画について 第8号 令和6年度 野洲市社会福祉協議会 一般会計予算について 第9号 定款の一部改正について

□監事会の開催

開催日／出席数	監査事項
5月25日(木) ◇監事 2名	令和4年度 野洲市社会福祉協議会事業報告について 令和4年度 野洲市社会福祉協議会一般会計決算について

□評議員選任・解任委員会の開催

開催日／出席数	決議事項
6月22日(木) ◇委員 5名	評議員の選任について

□経営委員会の開催

開催日／出席数	協議事項
2月29日(木) ◇委員5名	(1)令和5年度野洲市社会福祉協議会の運営状況について (2)基幹相談支援センター事業の受託について (3)第2次中期経営計画(案)について

(2)組織運営の充実強化

□第1次中長期経営計画推進会議

計画策定時に組織したプロジェクトチームにより計画を推進するため、進捗状況の確認と課題について協議する会議(年4回)を行いました。また、PDCAサイクルに基づき進行管理を行いました。

開催日	主な内容	出席数
6月22日(木)	『社協と企業等とのつながりについて』 各部門での進捗状況について等	13名
9月21日(木)	『第2次中期経営計画での取組みについて』 各部門での進捗状況について等	12名
12月21日(木)	『第2次中期経営計画での取組みについて』 各部門での進捗状況について等	13名
3月21日(木)	『第1次中長期経営計画の振り返りおよび第2次中期経営計画の 推進に向けて』	13名

□第2次中期経営計画策定プロジェクト会議

開催日	主な内容	出席数
6月14日(水)	『中期経営計画の趣旨・スケジュール等について』	7名
7月21日(金)	第2次中期経営計画の策定に向けて、第1次中長期経営計画の達成 状況の確認および課題の抽出／総務部門、学童保育部門	7名
8月24日(木)	第2次中期経営計画の策定に向けて、第1次中長期経営計画の達成 状況の確認および課題の抽出／地域福祉部門、在宅支援部門	6名
9月19日(火)	第2次中期経営計画の策定内容について内部協議	4名
9月27日(水)	第2次中期経営計画の策定に向けて、第1次中長期経営計画の達成 状況の確認および課題の抽出／相談支援部門 第2次中期経営計画の策定について	7名
10月24日(火)	中期経営計画(素案)について	7名
12月1日(金)	中期経営計画(素案)について	7名
12月20日(水)	中期経営計画(素案)について	7名
12月27日(水)	中期経営計画(素案)について	7名
1月12日(金)	中期経営計画(素案)について	7名
1月17日(水)	中期経営計画(素案)について	5名
1月31日(水)	中期経営計画(素案)について	7名

□第3期地域福祉基本計画の推進

①野洲市地域福祉計画推進会議

開催日	主な内容	出席数
2月9日(金)	委員長及び副委員長の選出 令和4年度野洲市地域福祉計画の進捗状況について	委員 13名 事務局 10名

②社会福祉課・社協担当者会議

開催日	主な内容	出席数
5月11日(木)	事務局会議の目的の確認、共有 令和5年度地域福祉基本計画推進委員会について	8名
9月28日(木)	令和5年度地域福祉基本計画推進委員会について	6名
10月19日(木)	地域福祉基本計画進捗管理について	6名
11月9日(木)	地域福祉基本計画進捗管理について 地域福祉基本計画中間見直しについて	7名
12月7日(木)	令和5年度地域福祉基本計画推進委員会について	7名
1月29日(月)	令和5年度地域福祉基本計画推進委員会について	7名

③社協職員による進捗状況の確認と課題について協議、事業の進捗管理会議

開催日	主な内容	出席数
7月5日(水)	第3期地域福祉基本計画の推進・進捗管理について 令和4年度第2回第3期地域福祉基本計画推進委員会の報告	13名
10月4日(水)	研修「レゴ®シリアスプレイ®ワークショップ」 講師：古民家再生協会滋賀南 谷口 陽介氏 (レゴ®シリアスプレイ認定ファシリテーター)	13名
2月7日(水)	第3期野洲市地域福祉基本計画評価について	13名

□運営会議

本会の運営方針や重要施策の計画決定等に関する協議を行うため、会長、事務局長、課長、課長補佐により毎月1回(年12回)開催しました。

(3) 会員制度の普及促進

本会が行う地域に向けた様々な福祉事業の貴重な財源として、市民、企業、各種団体等から会費のご協力をいただきました。ご協力いただいた会費は、住民の皆様に還元できるよう活用しました。

また、社会福祉協議会の活動にご協力をいただいた企業や団体、医院などとのつながり作りの一環として、ホームページ内に賛助会費へのご協力いただいた方との紹介ページを設けました。

区分	令和5年度	令和4年度
一般会費	8,261,240円	8,106,250円
特別会費	630,400円	681,000円
賛助会費	605,000円	585,000円
計	9,496,640円	9,372,250円

(4) 研修システムの体系化

職員研修計画に基づいて、外部研修や人権研修を中心に実施しました。

□職員研修

開催日	研修内容	参加数
9月7日(木) 9月8日(金)	≪視聴覚教材による研修≫「これが私の生きる道」 ～仲岡 しゅん～ LGBT シリーズ	12名 11名
12月6日(水) 12月7日(木)	≪視聴覚教材による研修≫「言葉があるから・・・」 ～無自覚の差別「マイクロアグレッション」～	9名 12名

□職員研修(外部)

開催日	研修内容	参加数
5月10日(水)	びわこ南部地域人権啓発連続講座 (291回)	1名
5月20日(土)	部落解放・人権政策確立要求びわこ南部地域実行委員会第33回定期総会	1名
5月20日(土)	令和5年度野洲市自治連合会研修会	11名
6月5日(月) 20日(火) 29日(木)	滋賀の福祉人研修(新任期)	2名 2名 2名
6月26日(月)	2023年度「事業所内公正採用選考・人権啓発基礎研修」	6名
9月13日(水)	びわこ南部地域人権啓発連続講座 (295回)	2名
10月19日(木)	野洲市企業人権啓発推進協議会先進地研修	1名
10月30日(月)	野洲市企業人権啓発推進協議会 人権啓発担当者研修会	1名
12月18日(月)	野洲市企業人権啓発推進協議会 経営者・管理者研修会	1名
1月10日(水)	びわこ南部地域人権啓発連続講座 (299回)	1名
1月25日(木)	事業所内公正採用選考・人権啓発担当者等研修	1名
2月1日(木) 3月7日(木)	障害福祉分野等における「対人支援のための記録入門研修」	1名
2月5日(月)	部落解放・人権施策確立要求びわこ南部地域実行委員会 第31回「部落解放・人権施策」連続講座	1名
2月13日(火)	滋賀県社会福祉協議会新任職員研修	2名
2月17日(土)	部落解放研究第31回滋賀県集会	1名
2月17日(土)	第19回野洲市人権尊重をめざす市民のつどい	1名
2月22日(木)	第42回社会福祉学会	1名
10月～2年間	滋賀県社会福祉協議会 えにしアカデミー(第3期生) (令和5年10月～令和7年9月)	1名

□野洲市への在籍型出向

出向先	出向人数
こども課	1名

(5) 人事管理制度の実施

人事管理制度の実施にあたり、今年度は目標管理制度や管理職としてのマネジメントを中心に研修を実施しました。各課においては、課員に対して目標管理シートによるヒアリングを実施しました。

□人事管理制度についての研修会

開催日	研修内容	参加数
12月21日(木)	前年度の研修の振り返り 「マネジメントとその3つの役割」 「管理者の役割と責任」 「自分らしい管理者になるために」	13名
1月23日(火)	「目標管理制度について」	14名
2月20日(火)	「メンバーのやる気を引き出す」	14名
3月5日(火)	「部下との対話」『1 on 1』	14名

(6) 財政の健全化に向けた取組

全ての役職員が高いコスト意識を持ち、費用対効果の視点に立って行動できるよう問題意識の共有を図りました。

- ・月毎の収支状況の把握、分析、情報共有
- ・事業別計画および予算見積書の作成・取りまとめ
- ・社協活動財源（会費及び寄付金など）の確保に向けた取組